

生意気ナツキはあなたに…ま、負けましたあっ♪

（強がりボーイッシュのよわよわ囁き低音アクメ）

2021/09

同人音声サークル『ライオクライオ』

この台本データは初稿バージョンです。実際の音声と異なる箇所がございます。
ト書きはほぼそのままですが、特殊文字や一部ワードは公開用に省いています。

雷雨明けの、晴天の朝。

小鳥はさえずり、屋根にたまった雨の雫がぽたり
ぽたりと滴り落ちる。

主人公、ナツキのベッドで眠っている。

ナツキ、部屋を覗いて主人公を呼ぶ。

《◆正面やや右/100cm》

ナツキ「おい。いつまで寝てんだー?」

起きない。

ナツキ「ったく♪」

ナツキ、部屋のカーテンを開けに歩く。

《◆右後ろ/50cm 歩きながら》

ナツキ「お前が寝坊したら一番まずいっつってんだろ♪」

一気にカーテンを開ける。

ナツキ「ほれ♪ いい天気だぜ?」

ナツキ「あんなに大雨だったのに、すっかり晴れてやがる」

主人公、布団をかぶる。

《◆右前/30cm 動きながら》

ナツキ「んあ、布団かぶんな!」

《◆布団をめくるみたいに、下にいつて戻る》

ナツキ「ほら、起きろ! つつかこの布団アタシんだから!

堪能すんな! ったくもー、くす♪」

《◆右前/10cm 近づく》

ナツキ 8 「あー？ エプロン姿でわりいか？ 似合ってたんだろ？」

《◆右前/30cm 離れる》

ナツキ 6 「早く起きねえと、朝ごはん捨てんぞ♪」

主人公、すぐに起き上がる。

《◆正面/30cm》

ナツキ 10 「あはは♪ 起きたな♪ ん冗談だって♪」

《◆正面/10cm 近づく》

ナツキ 11 「おーはーよ♪」

ナツキから舌を絡めるキス。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ 12 「ん、ちゅう♪ ちゅ、れる、れろちゅ♪ れろれる、ちゅ♪」

ナツキ 13 「くす♪ 一晩中キスしてたっつーのに、また欲しくなっちゃった」

ナツキ 14 「ん、ちゅう♪」

ナツキ 15 「ごめんな？ 朝っぱらから」

ナツキ 16 「ちゅう♪ ちゅう♪ はあ」

ナツキ 17 「……あと一回」

一回だけでは済まなそうな夢中のキス。

ナツキ 18 「んちゅう♪ れえるれろれる♪ んちゅぶ、れる、ちゅ♪」

キッチンからオーブンのベルの音。

《◆正面/30cm すっと離れる》

ナツキ19 「んあつ、オーブンから出さねえと」

《◆正面/10cm》（「」は小声で）

ナツキ20 「くす♪ 続きはあとでな♪」

《◆正面/50cm》

ナツキ21 「ここのテーブルで食うか。待ってて、持ってくつから」

ナツキ、キッチンに向かう。

《◆正面やや左/100cm》

ナツキ22 「あー、テーブル綺麗にしといてくんない?」

ナツキ23 「たのんだー」

ナツキ、朝ごはんを持ってくる。

《◆正面/30cm 遠くから歩きながら》

「（一呼吸）……どやあ♪」

ナツキ24 「今日は新作♪ 生ハムとアボカドのサクサクトースト♪ クリームチーズとナッツも入れてみた♪」

ナツキ26 「どやどやあ♪ すげえだろ?」

（「コショウを取る風に後ろ向いて戻る」）

ナツキ27 「ああ、食べる前にー、黒コショウ」

ナツキ28 「ほいつ」

「コショウをぱらっとまぶす。」

ナツキ29 「あはは♪ 一応料理部だぜ? こんぐらいのもてなしあしねえと♪」

ナツキ 30 「ん？ うん。ちょい早起したけど」

ナツキ 31 「んそういうのはいいからさ！ 冷める前に食べよ♪
ほら♪」

主人公、栄養たっぷりのトーストを一口。

ナツキ、食べる瞬間をじっと見つめる。

ナツキ 32 「（一呼吸）」

ナツキ 33 「どうだ？」

おいしい……。

ナツキ 34 「えへへ♪ そうか♪」

ナツキ 35 「あ、アタシも一口……や、いいよ。先食べちゃったし。一口だけ……あー」

ナツキ 36 「あむっ、もぐもぐ……んー、うん♪」

ナツキ 37 「くるみ入れてもいいかもな」

ナツキ 38 「分かんない？ 毎日食ってりゃ分かるようになるだろ♪ くす♪」

ナツキ、立ち上がって支度へ。

《◆正面やや左/50cm 動きながら》

ナツキ 39 「あ、学校の支度しねえと。食つとけ食つとけ♪」

支度中のナツキと会話。

《◆正面やや左/100cm》

ナツキ 40 「……（ちよつと鼻歌）……」

ナツキ 41 「んー？ 今日は遅くなんの？ そっかあ」

ナツキ 42 「なんか用事？」

ナツキ ㉓ 「飲み会？ ふざけんなよ」

ナツキ ㉔ 「やいいけどさあ。むう」

ナツキ ㉕ 「こっち見んなし、今着替えてっから……」

（少し抑えめに）

ナツキ ㉖ 「あ、そうだ♪」

ナツキ ㉗ 「ん……しょ……♪ くす♪」

ナツキ、そっと主人公の横へ。

《◆正面左/30cm から 左耳/10cm へ 一呼吸》

ナツキ ㉘ 「（一呼吸）」

【「」から小声】

ナツキ ㉙ 「なあ、食べ終わったか？」

ナツキ、主人公の股間をさする。

《◆左耳/0cm》

ナツキ ㉚ 「今日遅くなんならさ……今のうちに、ここの処理、
したほうがいいんじゃないの？」

ナツキ ㉛ 「はあ？ アタシがしたいわけじゃねーし♪」

ナツキ ㉜ 「ザコちんぽのお前のことだからあ……学校で勃起し
ちまったら、大変だろう？」

ナツキ ㉝ 「アタシが処理させてやるつつってんの」

【「」から普通の声量】

《◆正面/30cm》

ナツキ ㉞ 「じゃーん♪ 裸エプロン♪」

ナツキ ㉟ 「こーいうの好きだろ？ お前変態だし♪」

ナツキ ㊱ 「いひー♪ 着替えてる時に思いついた♪」

（体を見せる感じにくくね動く）

ナツキ57

「これやべえよなあ。デカ尻見えっぱなしだし♪
おっぱいも、横からはみ出ちまいそうだし♪」

（煽るように左右に動く）

ナツキ58

「どーだあ？ これでえ、さっきの続き、してやろう
かあ？ あはは♪」

主人公、のそりのそりと近づく。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ59

「あ、ああ……ちよ、目がマジじゃん」

（少し下見る）

ナツキ60

「それに……うう、そんなすぐ、元気になるか？
フツ」

（横に目をそらす）

ナツキ61

「アタシの朝ごはん、よっぽど栄養あったんだなあ。
あはは……」

主人公、そっとナツキを捕まえる。

《◆正面/0cm 動きながら》

ナツキ62

「いや、あの……お手柔らかに、頼むな？」

（1-1 END 1055文字）

「2」裸エプロンの生意気ナツキに、朝から分からせ立ちバック♪

即落ち2コマ。

立ちバックで1秒2回ほどのピストンを突かれる。

【★正面】

《◆正面/30cm》

ナツキ63

「あつ、あつ、はつ、あああああ♪」

ナツキ64

「お手、柔ら、かにつて、言った、だろお♪ おっ♪
おあ、あああ♪ あつ、ああああ♪」

【★『んだよ』で振り向く】

ナツキ65

「んだよ♪ 朝っぱらから、あつ♪ アタシを屈服さ
せるつもりかあ？ ふっ、んっ、んっ♪」

ナツキ66

「へへ♪ 今日は負けねえ♪ ぜってえ耐えてやる♪
かかってこいよ、このザ」ちんぽ♪」

ナツキ、奥をえぐるピストンで低音の喘ぎ声に。

【★正面】（低音強調）

ナツキ67

「おっ♪ おっ、おああ♪ あっ、あう、う、うえ、
へ、えあああ♪ ごめん、なさい♪ も、いぎます♪
おまんこ、負け、ますっ♪ いぐ♪ いぐ♪
いっぐっ♪」

低音アクメ。潮吹き。ピストン止まる。

ナツキ68

「あっ♪♪♪ ああああああ♪ は、あ、あああ♪
ごめんなさい♪ イキましたあ♪ お潮、吹きまし
たあ♪」

余韻でもう一回潮を吹いてしまう。

ナツキ69

「すぐいく、おまんこで、ごめんなさ、あっ♪ また
イグ♪（絶頂）うっぐうういいい♪ いあああ♪
はあああ♪（痙攣）おあああ……きもちいい……
はああ」

声が震えて気持ちよさそう。

（倒れそうに、ゆっくり下に）

ナツキ70

「ごめん待って♪ まだイキっぱなし♪
（痙攣）あああ……ああ……っ♪」

倒れそうなナツキ、後ろから抱かれる。

《◆左前/100% 抱かれる動き》

ナツキ71

「ん、ああ♪」

ナツキ72

「なんだよいきなり♪」

ナツキ73

「倒れそうだったか？ はは、ありがとな」

【★』はあ、はあ』で振り向く】

ナツキ 74 「はあ、はあ……なあ。さっきの、続き♪」

《◆正面/0cm》 【★首傾げてキス】

ナツキ 75 「はあ、ちゅ、れえるれる、ちゅ♪ れるれる、れるろ、ちゅう♪ ちゅっちゅ♪」

ナツキ 76 「くす♪ ちんぽかたあ♪ んちゅ♪ 昨日あんなエッチしたのに、まだこんな興奮出来んだ♪」

ナツキ 77 「ん♪ ちゅう♪ れえる、ちゅぶ、ちゅ♪」

ナツキ 78 「アタシ相手なら、無限にエッチ出来ちまうか？」

ナツキ 79 「えへへ、うるせえ♪ ちゅっちゅ♪ れるれる、ちゅ♪ れえるれるれる♪ ちゅっちゅ、ちゅう♪」

【ここから小声、耳元で吐息強調】

《◆左耳/0cm 一呼吸で移動》 【★耳元】

ナツキ 80 「はあ、おっぱいも大好きだもんなあ♪ さっきから、エプロン中手え突っ込んで、好き勝手揉みしだきやがって♪ あ、はっ、はあ♪」

ナツキ 81 「Hカップおっぱいの感触はどーだあ？」

ナツキ 82 「あっ♪ こら♪ 強く揉みすぎだ♪ これ以上大きくなったらどーすんだよ♪ ばか♪」

ナツキ 83 「そんながつつかなくても、逃げやしねえよ」

ナツキ 84 「むしろさ……こんな、むちむちな体でいいんなら」

(でれでれ囁き)

ナツキ 85 「もっと、好きにしても……いいんだぜ」

密着したままピストン再開、だんだん早く。

ナツキ86

「ああ♪ は、あつ♪ ああ、あん、あ、あああ♪」

1秒2回ほどのピストンに。

ナツキ87

「うあ、あ♪ おちんぽ、効くう♪ あつ、ああ♪」

ナツキ88

「お腹♪ ーりゅって♪ ーりゅっーりゅってえ♪

後ろからえぐんの、マジ効く♪ やべえとこ来る♪」

リズムカルに。時々低音に。

ナツキ89

「はっ、あつ、ああ、んっ♪ おっ、おう、うあ♪」

ナツキ90

「はあ、やっべえ♪ んっ、エプロンから、おっぱい、はみ出ちまった♪」

【ここから上下に揺れながら】

ナツキ91

「んっ、ほっ♪ ああ、あああああ♪ ちよ、やめ♪ わざと揺らすなあ♪ うわっ、わあ♪ やーあ♪

パイズリみてえに、動かすなよ♪ この変態♪

あん♪ おっぱいきもち♪ はあ、うあ、ああ♪」

ナツキ92

「くっそ♪ エプロンで隠してたのに♪ 乳首が勃起してんの、お前にバレちまった♪ はあ♪」

乳首を軽くつままれて、変な声が出る。

ナツキ93

「あ、ああ？♪ おま、乳首つまんで、なにして……は、まさか……やめろよ？ 今、乳首はだめだ。

ぜってえ刺激つええから。ほんと、マジ！ 好きにしていっつったけど！（期待）はー♪ はー♪」

【上下揺れおわり】

ピストン一旦止まる。

(でれでれ囁き)

ナツキ 94 「お願い。乳首は許して?。」

乳首を優しく弄られて可愛い声に。

(可愛い声で、痙攣するような喘ぎ)

ナツキ 95 「あ……ああ……あああああ♪ いじわるう♪」

ナツキ 96 「ん♪ んん♪ は、うううう♪」

ナツキ 97 「そんな、可愛がっても、なんも面白くねえだろ♪」

乳首カリカリ。

ナツキ 98 「おつ、おおお♪ 待って♪ 先っぽ、カリカリ

はあ♪ (低) あああ♪ それ、締まる♪ おまんこに
来る♪ ん♪ だめ♪ 許して♪」

小刻みに震える吐息。甘い絶頂。

ナツキ 99 「は、は、は♪ 乳首許して♪ は、は、は、は、

ああ、いく♪ いく♪ チクイキします♪ は、は、
は、は、ああ♪ (絶頂) あっ♪♪ あへ、へっ、え
へえええ♪ は、は、は、は♪ イってる時、乳首
なでなで、しないでえ♪ (低) あ、あああ♪ は、は、
は♪ きもち♪ ああ……あああ……♪」

ナツキ 100 「はあ……またお前に、変な開発されちゃった……

ばかあ♪ お前もさっさとイけよお♪」

【★顔見る】

◆《左前/10cm》【ここから普通の声量】

ナツキ 101 「あ? ベッドに寝んの? なんで——」

【★「ろんと正面」】

《◆正面/30cm ベッドにうつ伏せ、寝バック》

ナツキ102

「うああ♪」

ナツキ103

「や、これ寝バックじゃん。アタシこれ……」

【★『なあ』で振り向く】

ナツキ104

「なあ。他の体勢にしねえか？ 正常位とか！
昨日みたいにさ、いちやいちゃラブラブしよーぜ♪」

《◆正面/10cm ぐぐつと、のしかかれる》

ナツキ105

「あああ♪ ごめんな？ 裸エプロンなんかで挑発
したアタシが悪かった。もう全部負けていいからさ、
ほら、時間もやべーしさ！ な？ な？」

セリフ途中、奥まで一気に挿入。

ナツキ106

「だから、その……寝バックは……寝バックだけは、
やめてくだ（挿入）ああああっ♪♪」

【★痙攣中ゆっくり正面】挿入の余韻で絶頂。

ナツキ107

「（痙攣）あ、あ、ああ、ああ……終わったあ……♪
イグ……イグう♪」

いきなりピストン開始。重量感のあるエッチ。

ナツキ108

「ああ？♪ ひっ♪ ひいい♪ 待つで♪ 待つで♪
いつでる♪ 今いつで♪ あっ、奥、だつめ♪ あっ、
とんとん♪ 奥とんとんやらあ♪ うあ♪ あっ、
いつ、イグ、あっ♪（絶頂）あああ、ああ、ああ♪♪
は、あ、ああ♪ イギました♪ また、イギました♪
イギ♪（低）あっ♪ イっだって言ってるじゃん♪」

ナツキ109

「うああ、やあ、ああ♪ やーらあ♪ やらあ♪
やらあ♪ もうおちんぽ嫌あ♪ 学校いく♪
学校お♪ がっこ♪ 学校いくつてばあ♪
(低) いづく♪ いぐ♪ イグううう♪」

ピストン止まる。放心状態。

ナツキ110

「(絶頂) あああああ♪♪ (痙攣) ああ、あ、あ、
あ、ああ、あ、あああ♪ これ、無理……学校むり♪
ずっとおちんぽがいい……はあ……あああ♪」

【★『むう』で振り向く】

ナツキ111

「むう♪ だから寝バックはやなんだよお♪ 全然
逃げらんねえし♪ なんも抵抗出来なくて、一方的に、
お前のメスだってこと、分からされちまう♪」

ナツキ112

「こんな、負けるに決まってるエッチ、アタシが好き
なわけねえだろ♪ 勘違いすんな♪」

【★左前へと抱かれながら正面向く】

《◆左前/10cm 抱かれる》

ナツキ113

「おっ、おっ、おああ♪♪ あっ、あっ♪ “めんな
ざい♪ 嘘つぎましだあ♪ 寝バック、すげえ好き♪
おっ♪ 抱きしめられんの、好きい♪ もっと、お願
いしますっ♪ (濁音) あっ、あっ、あああ♪」

《◆正面/0cm》【★首傾げてキス】低音で喘ぐ。

ナツキ114

「ん、んん♪ ちゅれる、ん♪ れえるれるちゅれ
ろ♪ ん、れえるれるれるる♪ はあ、あ、ん♪
んん♪ ちゅぶ、ちゅれる、ちゅう♪ んん♪」

キス中に何度も絶頂。

ナツキ二五

「ちゅう、れえるれる♪ ん、んん、イグ♪（絶頂）
んんん♪ ん、ん♪ れるれる、ん♪ あ、イギま
す♪（絶頂）んおお♪♪」

ナツキ二六

「はー♪ んちゅぶ、れえる、れろれるれる♪（低）
あ、あああ♪ 潮吹き、します♪ ごめんなさい♪
（絶頂）あっ♪♪ はっ♪♪ おあああ♪ あ、
あああ♪（余韻）はあはあ♪ んちゅ♪ んちゅ♪
ちゅっちゅ♪ んちゅうう♪ はあ♪」

一旦ピストン止まる。へとへと。

《◆左前/10cm》【★顔見る】

ナツキ二七

「ああ？ イキそうか？ 遅せーよばか♪」

ナツキ二八

「だったら、後ろからぎゅーって、思いっきり抱いて
くれ♪」

《◆左耳/0cm 近づきながら》【★耳元】【小声】

ナツキ二九

「んん♪ もっと♪ もっとだ♪」

（二二二は囁き）

ナツキ二〇

「昨日はもっと、強く抱きしめてたぜ？ くす♪」
（負けると分かってて、ちよっと声が震えてる）

ナツキ二一

「アタシのことが大好きならさ、デカ尻押し潰すくら
い、かっこいい中出しピストン、キメてみるよ♪」

ナツキ二二

「それとも、ヘコヘコピストンしか出来ねえのか？
この……クソザコちんぽ♪♪」

【「」から普通の声量】

《◆左前/10cm》【★くるっと正面】

ナツキ123 「ああ……♪」

1秒4回ほどの早くてエグい分からせピストン。

【「」から呂律回らずイントネーション崩れる】

ナツキ124 「(低)おっ♪♪ あ、あ、あ、あ、(高)へ、あ、
ああああ♪(低)あ、んお、お、おああああ♪」

ナツキ125 「(高)気持ちいい♪(低)気持ちいい♪ 死ぬう♪
イキじぬ♪ うあ、あ、ああ♪」

(とろとろ声。文字どおりじゃなくてOK)

ナツキ126 「は、は、は♪ はいいい♪ 好き♪ 大好きです♪
本当は、朝からエッチしたかったです♪ お前の、
朝立ちちんぽ見て、おまんこぐちよぐちよになってま
したあ♪ おちんぽ♪(低)おちんぽおちんぽ
欲しかったでひゅ♪(高)もっと奥♪ 奥がいい♪」

ナツキ127 「(低)あっ♪♪ あ、あ、は、あ、あああ♪(高)
アタシもお、昨日より、もっと、もっともっと、
おまんこ締めますからあ♪♪ は、は♪」

ナツキ128 「出来立ての、どっぶり精液♪(低)子宮にくださ
い♪(高)中出し、くらひゃあい♪」

一番激しいピストン。濁音あえぎ。

ナツキ129

「あ、あ、あ、あ、ひ、あ、ああ♪ あああああ♪
(耳元で) 一緒、一緒、一緒がいい♪ はあはあ、う
ん♪ 一緒お♪(戻る)」

(射精へ、だんだん低音に。『いぎます』強調)

ナツキ130

「は、は、あ、あ、あ、あ、あ、ああ♪ いく、い
くいく、いぐいぐいぐいぐいぐう♪ いぎますっ♪♪
(絶頂) おおっ♪♪♪ あっ♪♪ ああああ♪ は、
ああ♪」

《◆左耳/0cm ゆっくり移動》【★耳元】【小声】

ナツキ131

「あああああ♪ 大好きい♪ はあ、大好きい♪
(低) あああ♪ 潮吹き、止まんない♪(中) はへ♪
中出し、嬉しくてえ、おまんこ、泣いちゃった♪
あはは♪(低) あ、また、吹きます♪
(絶頂) あああっ♪♪♪ ああ、あへ、あえ、ええ、
えへへ♪ はー、はー、はー♪」

《◆正面/0cm》【★首傾けてキス】

ナツキ132

「はあ、ふう」

ナツキ133

「んちゅう、ちゅぷ、ちゅ♪ れる、ちゅ♪ ん、
ちゅ♪ ちゅっちゅ♪ んちゅうう♪」

(『時計見ろよ』で少し壁見る)

ナツキ134

「んうるせえ♪ 可愛いとか言うな♪ 時計見ろよ、
あと五分で出ねえと」

ナツキ135

「ん、んん？ れる、ちゅ♪ ちゅう♪ ちゅ♪」

ナツキ136

「ギリギリまでこうしてえの？ ちゅっちゅ♪」

ナツキ137

「くす♪ 知ーらね♪ んっ♪ ちゅう♪ れる、
ちゅ、ちゅぷ♪ ちゅう、ちゅっちゅ、れるちゅ♪
んちゅ、ちゅう♪」

(1-2 END 3044文字)

放課後。学校の一教室。

主人公がたまたま通りかかったところ、
ナツキが一人の生徒をなだめていた。

【ここからダミへに背中を向ける。気持ち左右に
身振り手振りしながら】

《◆正面/100cm》

ナツキ 138 「まあ、そう気い落とすなつてー！」

(小ネタ。前回のナツキ539の対比)

ナツキ 139 「可愛い女はクラスにいっぱいいるだろ?」

ナツキ 140 「ん、アタシが……一番可愛いか?」

(ちょい照れ)

ナツキ 141 「んまたそういつて♪」

ナツキ 142 「お前には、もっとこう……優しい女が似合うと思う
けどな。何でも褒めてくれるようなさ」

ナツキ 143 「案外そばにいるかしんねーぞ? な?」

ナツキ 144 「おう。落ち着いたか?」

ナツキ 145 「ありがとな、告白してくれて」

ナツキ 146 「ん♪ じゃなっ」

【ここからダミへを見る】

《◆正面/30cm 振り向いて近づく》

ナツキ 147 「あ……ああ、見てたのかよ」

ナツキ 148 「……ここで喋んのもアレだし、テキトーに座つか」

二人、教室に入る。もちろん、エッチのため。

《◆左前/50cm》（ちよい照れ）

ナツキ 149 「（一呼吸）ん？ おう。鍵、閉めといて……♪」

主人公、教室のドアを中から閉める。

イスに座る。

《◆右前/30cm》

ナツキ 150 「ふう……」

ナツキ 151 「んー？ そうだな、また告られちった♪」

ナツキ 152 「もしかしてモテ期♪」

ナツキ 153 「あはは♪ 冗談だつて♪」

ナツキ 154 「んだよ♪ 気にしてんの？」

ナツキ 155 「まあ、男友達に告られて、可愛いって言われりやさ、悪い気はしねえだろ」

少し心配そうな主人公。

《◆◆正面/30cm》

ナツキ 156 「それとこれとはちげーの♪」

ナツキ 157 「あいつとは友達のまんまだから、なんも気にするこたあねえつて」

ナツキ 158 「告ってきたのがあいつで良かったって思ってるよ？ 素直だし、物分かりいいし」

ナツキ159 「この前来たやつなんかさ、思いっきり体目当てだったんだぜ?」

ナツキ160 「そーいうヤツもいるって♪ むしろそーいうヤツばっか!」

ナツキ161 「クラス見てりや分かんだろ?」

ナツキ162 「あー、男の目線じゃ分かんねーかあ」

ナツキ、立ち上がって主人公の隣へ。

《◆右/0c3 動きながら》【ここから小声】

ナツキ163 「うっし、アタシが直々に教えてやるよ♪」

ナツキ164 「朝一発目、クラスの男子におはよーつつて、最初に見られんのは顔じゃなくておっぱい♪」

ナツキ165 「全校集会で体育館の床に座ってつと、太ももをチラ見してくる変態ばかり♪」

ナツキ166 「徒競走なんかもつと最悪♪ みーんな揺れるおっぱいしか見てねえの♪」

ナツキ167 「ああ、水泳の時間のほうがもつと酷かったっけな♪ ま、そこは想像に任せるわ♪」

ナツキ168 「くす♪ これで分かったか? この学校ってさ、アタシをエッチな目で見てくるスケベ男子が、そこら中にいっぱいいるんだよ♪」

ナツキ169 「どーせ、一発やりてえとか思ってたんだろうなあ」

主人公、独占欲をくすぐられムつとする。

ナツキ 170 「そうムツとすんなって♪」

【「」から囁き】

ナツキ 171 「考えてみ？」

ナツキ 172 「スケベ男子がみーんな部活でぜえぜえ言ってる時に、
エアコンの効いた教室で、いつもアタシと生ハメ
セックスしてんのもって、誰だっけ？」

【「」から小声】

ナツキ 173 「くす♪ アタシが他の男になびくわけねえだろ？」

ナツキ 174 「その証拠に……下見ろよ」

ナツキ、スカートをめくる。

(「」ちよつと下見る)

ナツキ 175 「スカートをめくつてー、下着を裏つ返すとー」

【「」から囁き、興奮気味】

ナツキ 176 「はあはあ♪ お前の言いつけどおり、リモコンロー
ター、ちゃんと付けてきた♪ 偉いだろ？」

ナツキ 177 「くす♪ 誰の言うことも聞かねえアタシが、
お前だけには、ぜってえ逆らえねえ♪」

【「」から小声、興奮気味】

ナツキ 178 「(吐息) なーあ。いい子になっからさ……
今日も気持ちいいこと、いっぱいしてくれよ♪」

ナツキ 179 「おねがい♪」

(2-1 END 928文字)

夕方の教室。

しゃぶりとつく音と、重たいローター音が響く。

ナツキ、ローターに喘ぎながら、辛うじてピストンフェラ。

《◆正面下/30cm 股間の位置》

ナツキ180 「んじゅぶ、じゅぽ、じゅぶ、じゅぶ♪ んん♪
じゅぶ、じゅぶ、ん♪ じゅぶじゅぶ、ん、あ♪」

絶頂、潮を吹いてしまう。

ナツキ181 「じゅぶ、ん、んん♪ は、あ、ああ♪
(絶頂) あああああ♪♪」

ナツキ182 「は、はあはあ♪ またイキました♪ イった♪ あ、
ああ♪ イったっつーの♪ (痙攣) う、うう、う
ううううう♪」

甘えた声。

ナツキ183 「止めてくんねえの？ おまんこやばい♪ ああ♪
はあ♪ ちゃんと、勃起するまで？ うう、くそお♪」
(口を開けて左右に動く)

ナツキ184 「あー♪ あー♪ ちんぽくれ♪ あー♪ ーん♪
にげんな♪ ああー♪ (啞) ああむ♪」

より追いついてるピストンフェラ。喘ぎ声。

ナツキ185

「ん、じゅぶじゅぶ、じゅぽじゅぶ♪　んん、じゅぶ
じゅぶ、じゅぶじゅぶ♪　ちゅうう、ぶあ♪」

ナツキ186

「頭ぽーつとする♪　今からこのちんぽで、んふ♪」

ナツキ187

「んじゅぶ、じゅぶじゅぽ、じゅぶ♪　早くおつきく
しろ♪　むう♪　じゅぶじゅぶ、じゅぽじゅぽ♪
じゅぶじゅぶ♪」

舌でくすぐるような舐め。

(舐め音は『れるれる』と声を混ぜる。セリフは

舐めながら喋る)

ナツキ188

「はあ♪　んれええ♪　れるれる、れるれるれる♪
こーいう舐め方も好きだよな♪　れるれるれる♪
裏筋も、んれるれる、カリ首も、んれええ♪　んれ
る♪　れるれる、れるれる、れるれる♪　ちゅ♪」

ナツキ189

「フル勃起じゃん♪　なあ、早くエッチしよお？
潮吹きで水たまり出来てんだよ♪　もう限界♪」

激しくピストンフェラ。喘ぎも最高潮に。

【ここから啞えながら喋る】

ナツキ190 「あむ♪ じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ♪ じゅぽじゅ
ぶじゅぶじゅぶ、 んん♪ じゅぶじゅぶじゅぶ♪」

（絶頂に向けだんだん低音に）

ナツキ191 「またイク♪ じゅぶじゅぶ、 イキます♪ じゅぶ、
んん、 じゅぶじゅぶ♪ んん、 じゅぽじゅぽじゅぶ♪
いぎますッッ♪」

啞えながら絶頂。潮吹き。ローターが落ちる。

ナツキ192 「ん、 んんんん♪ んん♪ んんんん♪」

【啞えおわり】

男性器を離して、絶頂の余韻。声が震える。

ナツキ193 「じゅぽ、 は、 はあ♪（低）あああ、 あああああ♪
は、 ああ……あああ……ああ♪」

《◆正面/10cm 立ち上がりながら》

ナツキ194 「はあ、 はあ♪」

床で震えるローター。

ナツキ195 「はは♪ ローター落ちちまった♪ 膣圧やばすぎた
んかなー♪ くす、 強くしすぎだバカ♪ はあ♪」

ローター止める。

ナツキ、 男性器を触っておねだり。

ナツキ196 「ほら♪ 言われたとおり、 口だけで勃起させたぜ？
よだれのローションもたっぷり付けといた♪

……早く♪」

挿入。軽くイク。

ナツキ197 「ん、あ♪ あ、あ、ああ♪ はあはあ♪」

途中でピストン開始。

ナツキ198 「いめんなさい♪ 入れただけで、勝手にイキま」

1秒2回ほどの少し急ぎ気味なピストン。

【気持ち上下に揺れる】

ナツキ199 「おっ♪ ちょ♪ あ、まだ♪ は、あ、あ、うあ、あ、は♪」

ナツキ200 「んなんだよ♪ ん♪ 今日やけにがつくじゃん♪ はあはあ♪ お前、やっぱ気にしてんだろ、さっきの♪ ん、ん♪」

ナツキ201 「アタシが周りの男子に、告られんの、そんな嫌かあ?」

(『ズリネタにされんの』強調)

ナツキ202 「アタシが周りの男子に、ズリネタにされんの、そんな嫌か?」

ナツキ203 「やきもちやいてやんのー♪ あはは♪」

ナツキ204 「ぜってえやいてる♪ 顔みりや分かるし♪」

ナツキ205 「『こいつは俺の女だ。こいつは俺の女だ!』って♪ オスの顔してパコパコしやがって♪ う、あっ♪ は、(低)あ、あ、あああ♪」

ナツキ 206

「お前だって、アタシの体ばつかじゃん♪
すぐおまんこ♪ すぐおっぱい♪ 違いか？

ああん？ は、はあ♪」

一旦ピストン止まる。【上下揺れ止める】

ナツキ 207

「ならさあ、気づかねえの？」

ナツキ 208

「何が、じゃなくて」

（髪を見せるみたいに顔を横に振る）

ナツキ 209

「ほら♪ ほーらあ♪ アタシのこと毎日見てんだろ？
変化に気づけ♪」

（ここは横を見てぶつぶつ）

ナツキ 210

「うわー、やっぱおまんことおっぱいしか見てねえん
だー♪ お前も体目当てだったんだなー♪ 最悪♪」

ナツキ 211

「んー？」

うつむく主人公。

（右に左に、主人公の様子を見るように）

ナツキ 212

「あ、ああ……そんな、拗ねんなよっ♪」

ナツキ 213

「今回はドンマイだけど、気持ち切り替えてけっ♪
な？ な？」

ナツキ 214

「はあゝったく♪ しょーがねえなあ♪」

（まだ慣れない。恥ずかしい）

ナツキ 215

「にやあにやあ♪ にやあゝ♪」

ナツキ 216

「いきなり目を見開くな！」

ナツキ 217

「むっ……可愛いアタシも、好きなんだろ？ これで、
元気になるか？」

(左右に動きながらごろにやー)

ナツキ 218 「んにやあ……にやあ……♪ にやあにやあ♪」

ナツキ 219 「拗ねながらちんぽ大きくすんなよ……♪」

ナツキ 220 「むう♪ ラスト一回だかんっ♪」

《◆右耳/0cm 一呼吸で動く》(小声、ゆっくり)

ナツキ 221 「……本気ちんぽで、パコパコ、してほしい、
にやっ♪」

即ピストン再開。【気持ち上下に揺れる】

1秒2回、さつきよりも強い腰つき。

《◆右前/10cm》

ナツキ 222 「うああああ♪ あ、あああ♪ あはは♪ 即復活♪

お前もちんぽも単純すぎんだろ♪(低) あっ♪
待つでそれイグ♪ いぐ♪(濁音) ああああ♪
まっ、いぐから♪」

低音、潮吹き。ピストン止まらない。

ナツキ 223 「おっ♪♪ あ、あえええ♪ あ、あああ♪ は、

あああ♪」

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 224 「(低)すげ♪ 奥♪ 奥すげ♪ あああ♪」

ナツキ 225 「さつきより、おつきくなつてね? そんな嬉しかつ
たのかよ♪(高)あ、ああああん♪」

ナツキ 226 「ったく♪ あれやんの、クッソ恥ずいんだかな♪」

《◆正面/0cm 近く》

ナツキ 227 「はあはあ♪」

(ぼそっと囁き)

ナツキ 228 「お前にしか、ぜってえ見せねえし♪」

ラブラブキス。リズム良く喘ぎ声。

ナツキ 229 「んちゅぶ、ちゅ♪ ん、ん♪ ちゅれる、れる♪

ちゅう♪ れえるれるれる、れるれる♪ れる♪

はあ、れえるれる♪ ん、ちゅ、れる♪ ちゅう♪」

ナツキ 230 「ああ？ さっきの？ れえるれる、ちゅ♪」

ナツキ 231 「髪切ったんだよ！♪ 気づけバカ♪」

ナツキ 232 「はむ♪ れるれる、れるれるれる♪ んちゅう♪」

ナツキ 233 「アタシのこと、もつといっぱい見る♪ んちゅつ

ちゅ♪ 今も目え閉じんな♪ エロいキス顔、ずっと

見つめてろ♪」

舌をフェラするようなキス。速いリズムの喘ぎ声。

ナツキ 234 「ああむ♪ じゅぶじゅぽ、れるれる、じゅぶ♪ ん

ん♪ れるれるじゅぶ、れるれるじゅぶ♪ はあ、気

持ちいい♪ れるじゅぶ、じゅぽじゅぶ♪ んん♪」

キスしながら潮吹き。

ナツキ 235 「いめんまたイク♪ れる、キスしながらイク♪ ん、

ん♪ (低) イクとこ見て♪ アタシがアへるとこ♪

ん、じゅぶ、れるれるれる♪ (絶頂) んんん♪

んん♪ れえる♪ ん、れる♪ ん、んん♪ れろ、

んん♪ れえる、れる、ん♪」

【上下揺れ止める】

余韻で甘いベロキス。ピストン止まる。

ナツキ 236

「はああ♪ れえるれる♪ はあ♪」

《◆正面/10cm 離れる》

ナツキ 237

「はあ、はあ♪ くす♪」

ナツキ 238

「ショートカット、ちょい短くしたの……どうかな」

ナツキ 239

「えへ♪ 二度と見逃すんじゃねーぞ♪」

ナツキ 240

「むう♪ 分かったら、もつとパコパコしろ♪」

《◆右耳/0cm 抱きつく》【ここから小声】

ナツキ 241

「ああ、はあ♪」

ゆったりとピストン再開。吐息に近い甘い喘ぎ、
優しい耳舐め。

ナツキ 242

「ん、れる♪ れえるれる♪ はあ、れろれる、れる
れるれる♪ はあ、れえるれる♪ れえろれる、はあ
はあ♪ れる、れろれる♪」

ナツキ 243

「はあ、ああ♪ 他の男に告られた教室で、なにやつ
てんだか♪ れえるれる、れろれる、はあ♪」

ナツキ 244

「さっきまで、甘酸っぱい青春の匂いが、
してたはずなんだけどな〜♪ ん、んはあ♪」

ナツキ 245

「完全にドスケベな匂いに塗り替えられてやんの♪」

(「」は低音、囁き)

ナツキ 246 「ん♪ んお♪ ちんぽかてえ♪ あ、あああ♪」

ナツキ 247 「他の男はズリネタにしてくっけどさ♪ お前は違うもんな♪ とろとろおまんこ、かき回し放題♪」

ナツキ 248 「アタシを独占してる気分はどーだあ？

ざまあみろって感じ？」

ナツキ 249 「あはは♪ バレたらあいつ泣くぞー？ 男子全員にどつかれるぞ〜♪」

ナツキ 250 「なーんて、どーでもいいよなー♪」

だんだん吐息が濃くなる。

ナツキ 251 「放課後に教室セックスすんのは、アタシらの特権なのに、はああ♪ 何回潮吹きしたかも分かんねえ床上で告られてもさ♪ (低) んん♪ ほお♪ こっちは生ハメ待ちだっつーの♪」

(畳みかけるように)

ナツキ 252 「授業終わった♪ お前に会いたい♪

セックスしたい♪ まだかな♪ いつくつかな♪

今日は何してくれんのかな♪

おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪」

《◆正面/10cm ―呼吸で移動》

ナツキ 253 「……大好きなお前と、放課後エッチすんの♪

ローター遊びしながら、ずっと待ってたんだぞ♪」

(愛情いっぱい)

ナツキ 254 「アタシのこと一人にすんな♪ ーこのザコちんぽ♪」

ピストンが激しくなる。

左の耳舐めへ。低音喘ぎまじりの吐息。

《◆左耳/0cm 抱きつく》

ナツキ 255 「は、はあ♪」

ナツキ 256 「はむ♪ れるれるれるる♪ んはあ♪ れるれる、
れるれるる♪ はあ♪ んん♪ れるれるれるるる♪
はあ、れえる、れるれるる♪」

ナツキ 257 「アタシがどこかに行くわけねえだろ♪ 何回お前の
ちんぽで分からされたと思ってんだよ♪」

ナツキ 258 「（低）ああ、あああ♪（中）もう普通のエッチなん
て出来ねえ。ぜってえ出来ねえ♪」

ナツキ 259 「寝る時だって、お前を考えてさ♪ 明日はどう襲っ
てくれんだろって♪ 一人でおもちゃ遊びしてんだ
ぜっ。」

ナツキ 260 「（低）おっ、おお♪（中）ずっとずっと、頭ん中お
前ばかり♪」

ナツキ 261 「お前の声も、汗の匂いも、ぎゅってされた時のあつ
たかさも♪」

ナツキ 262 「忘れらんなくて……毎晩オカズにしちまつてる♪」

ナツキ 263 「れえるれるる、れろれるるる♪ れえるれるるる♪
れるれるる、れるれるるるる♪ れえるる♪ はあ♪」

ナツキ 264 「勝手にオカズにしてごめんな♪」

ナツキ 265 「でも……」

（どろっどろにドスケベな声）

ナツキ 266 「お前のこと考えながらするオナニーって、すっげえ潮吹きがでんの♪」

（デレた声に変わる）

ナツキ 267 「そんなくらい、心も体も、お前のこと大好きなのに、他の男なんて無理に決まってんじゃん♪」

（泣きそうなくらい甘えた声）

ナツキ 268 「お前のキスじゃなきゃヤダあ。お前のちんぽじゃなきゃなんだよお」

ナツキ 269 「一生、お前のお嫁さんになるからあ♪ いい子にするからあ♪ いっぱい♪ いっぱい♪ 可愛がつてくれ♪」

ナツキ 270 「はあはあ♪ 追加の、ラスト一回だ♪」

「瞬ピストンが止まる。」

ナツキ 271 「中出しぴゅっぴゅ、してほしいにゃ♪」

【ここから普通の声量】

《◆正面/10cm 正面で抱きしめられる》

ナツキ 272 「う、うあ♪」

本気ピストン、低音のえぐい喘ぎに。

ナツキ 273 「あ、あ、あ、ああああああ♪ おっ、おっ、うっ、あっ、あああああ♪ は、ああ♪ ぎもじい♪ ぎぼじい♪ 気持ぢい♪ ああああ、あああ♪ はううえええ、えああああ♪」

ナツキ、もうイキそう。キスをせがんでむさぼる。

《◆正面/0cm》（『舌出せ、はむ』まで超早口）

ナツキ 274 「最後♪ 最後キスがいい♪ 早く♪ 早く舌出せ♪
は、は、はあむ♪ れるれるる、れるれるる♪
好き♪ れるれる、れるれる♪ 好き、好き♪ れろ
れるれる♪ 大好き♪ れるれろ、んん、れるれる♪
すきだよお♪ れる、けっこんしよ♪ れるれるる、
んん♪ れるれるる、んんん♪」

絶頂へだんだん低音に。

ナツキ 275 「中出し♪ ん、中出し来る♪ れるれるる♪
いく♪ れるれるる、じゅぶじゅぶ、いぐ、いぐ♪
ん、れるれる、んん、れるれる、んんん♪ いぐう
うう♪♪♪」

絶頂潮吹き。口内をかき混ぜるキス。

ナツキ 276 「んんん♪♪♪ んん♪♪ れるれる、んん♪♪
れえろれるる、ん♪ こちゅこちゅ、ん♪ くちゅ
くちゅ、れえるれるる、んんん♪ れえるれる、れ
ろれるる♪ ん、んん、んんん……ん、んん♪」

余韻キス。口の中をゆっくりかき混ぜるように。

ナツキ 277 「こちゅ、こちゅ♪ ん♪ くちゅ、くちゅ♪ ふー
ふー♪ ん、れる、れる♪ んちゅ、れる♪
ちゅううう♪」

《◆正面/10cm ゆっくり離れる》

二人の唇がゆっくり離れる。大量の涎の橋。吐息。

ナツキ 278 「ぶああ♪ はああ、はああ♪ あはは……」

ナツキ 279 「下半身どーなってるんだこれ。ぐっちゃぐちゃ」

ナツキ 280 「服も着替えねえと」

ナツキ 281 「くす♪ お前とエッチしてっと、制汗スプレー
秒で無くなんだよなあ♪」

《◆正面/0c またキスが欲しくなる》

ナツキ 282 「ん、ちゅ♪ ちゅう♪ ちゅっちゅ♪ ちゅう♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ 283 「ん♪ 可愛いって言うな♪ まだ慣れねえんだか
ら♪」

ナツキ 284 「じゃあ、この髪型も可愛いかな？」

ナツキ 285 「あはは♪ あと一週間ぐらい根に持つからなっ♪」

《◆正面/0c キスおねだり、いちやいちや》

ナツキ 286 「んー♪ ちゅ♪ ちゅっちゅ♪ ちゅう♪ くす、
ちゅ、ちゅ、ちゅっ♪」

(2-2 END 3426文字)

ネットカフェの個室。

ナツキ、主人公の膝に座って一緒にアニメを見る。

【主人公にしか聞こえない抑えた声量で】

《◆右前/100% 主人公の膝に座って前を見る》

ナツキ 287 「あゝ、お前を椅子にして見るアニメさいこゝ♪」

ナツキ 288 「あはは♪」

《◆主人公の顔を見る》

ナツキ 289 「あ、このセリフ好き♪」

《◆前を見る》

ナツキ 290 「うん」

(※元ネタ 黒バス3期14話)

ナツキ 291 「『俺に勝てるのは……俺だけだ』」

(推しに限界になる声)

ナツキ 292 「は——」

ナツキ 293 「んでもこの後重たい話続くんだよな——」

ナツキ、後ろから胸を揉まれる。喘ぎ声は我慢。

【「ここから体をよじりながら」

ナツキ 294 「んー……んっ♪ んう♪ んっ♪」

ナツキ 295 「ん、っーかさあ、ツツコンでいい?」

ナツキ 296 「やそういう意味じゃなくて」

ナツキ 297 「なんでさっきから、ん、おっぱい揉んでんだよ」

ナツキ 298

「う、あつ♪ 目の前にあるからつて揉むなあ！
ストレス解消のアイテムじゃねーんだから」

ナツキ 299

「無限もみもみ？ ブン殴んぞ」

甘い声が出る。

ナツキ 300

「あ♪ ああ♪」

ナツキ 301

「サカリやがって♪」

既に少し息を切らしている。

《◆主人公の顔を見る》

ナツキ 302

「お前がその気なら、アタシにだって作戦はある♪」

ナツキ 303

「勝負しろ♪ この前と同じ、十分我慢♪」

ナツキ 304

「今度はアタシがイクの我慢すつから♪ リベンジ
な♪」

【体をよじり終わり】

ナツキ 305

「アタシが勝ったら、このアニメのボックス、全部お
「ごっつくれよ♪ くす♪」

ナツキ 306

「あ？ アタシがイっちゃったら？」

ナツキ 307

「まあ、お前の好きにすりやいいじゃん……♪」

ナツキ 308

「でも、いつもどおりにやいかないと思うぜ？」

《◆右耳/0cm》【ここから囁き】

ナツキ 309

「毎晩、おもちゃ遊びしてっからさあ♪ もうお前の
指程度じゃ、イカせらんねーよ♪」

（『逃げてても』を強調、挑発するように）

ナツキ 310

「で、どーすんの？ 乗る？ 逃げてもいいけど」

ナツキ 311

「あはは♪ またやるんだな♪ いいぜ？

下着に手え入れたらスタートな♪」

ナツキ 312

「ま、全然感じねえかも♪ 先に謝っとくわ、マグロ

でごめんなー♪ あはは♪」

ナツキ 313

「そんじゃ、十分間のイキ我慢、スタート♪」

(3-1 END 486文字)

即落ち2コマ。

ナツキ、女性器を優しくほじられて、とろとろに
可愛く喘ぐ。

【「」から囁き、声を震わせる】

《◆右耳/0cm》

ナツキ 314
「「めんなさい♪ 負けましたあ♪ 負けた♪
負けてます♪ もういつてます♪」

ナツキ 315
「Gスポット撫でるの、やめてくらひゃあい♪」
ナツキ 316
「あへ♪ おま、もう、十分経ってるからあ、だめな
んだぞっ♪ 指止める♪ あ、イク♪」

低い声の吐息。痙攣絶頂。

ナツキ 317
「は、はあ、は、は、はあ、はあ♪」
ナツキ 318
「はい♪ おもちやよりも、気持ちいいです♪ 認め
ます♪ あ、そこ♪ そこほじられるの、好きです♪
またイグ♪」

また吐息たつぷりに絶頂。

ナツキ 319
「あああ♪ は、は、は、はあ、あ、はあ♪」
手マン止まる。

ナツキ 320
「はあ、はあ……♪」
ナツキ 321
「うう、下着ずぶ濡れになっちまった」
ナツキ 322
「替えとかねえよ！ 後で買いに行くぞ！
そんでおこれ！ 分かったか？ ったく♪」

【主人公にしか聞こえない抑えた声量で】

《◆正面/30cm 動きながら》

ナツキ 323 「ん、はあ……」

ナツキ 324 「どーせエッチすんだろ」

ナツキ 325 「だろーと思った。防音の個室選んで正解だったわ」

ナツキ 326 「でも、あんま大きい声出したら、流石にやべえよな」

【ここから囁き、全体的に吐息を意識】

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 327 「やんなら、こつそりだ」

（下を見て脱がせるように）

ナツキ 328 「脱がせるぞ……ん……ズボン膨らみすぎだろ……勝負してる時、ずっと当たってたし……ん、はあ」

（戻る）

ナツキ 329 「お前は座ったまま、アタシが上でいいか？」

挿入、軽くイク。

ナツキ 330 「うん♪ 濡れてっから、すぐ、はいっかな♪ はあ

はあ♪ ん、んん♪ んんん♪（低）ああ♪

ん、ああ♪」

ナツキ 331 「はい♪ イキました♪（低）あうう♪」

ナツキ 332 「絶頂したての締め付けまんこ、お前好きだもん

なあ♪ 中で、すげえおちんぽ喜んでる♪ ほんと変

態だよ♪ あ、ああ♪ はあ♪」

ナツキ 333 「ん、どーした？」

ナツキ 334 「罰ゲーム？ エッチすんのが罰ゲームじゃねーの？」

ナツキ 335 「はあ？ じゃあ、なんだよ」

（羞恥）

ナツキ 336 「ん、エッチしながら、好きって、言えがいいのか？」

ナツキ 337 「あのなあ、そういう言葉は無理に言わせるもんじゃねーって」

ナツキ 338 「もっとこう、盛り上がった時に自然と出るようなさ」

ナツキ 339 「あーくそ♪ アタシが乙女になってどーする！」

ナツキ 340 「わーったよ！ 言えばいいんだろ……っ」

《◆右耳/06 抱きつきながら》

ナツキ 341 「じゃあ、腰動かすから」

ナツキ、1秒1回程度のゆっくりなピストン。

ナツキ 342 「んっ、んっ、ふっ、んっ、んっ」

情が入らない。

ナツキ 343 「ん、好き……好き……」

ナツキ 344 「はあ、好き、好き、好き、好き、好き、んっ」

ナツキ 345 「気分じゃねーんだから、ん、しょうがねーだろ」

ナツキ 346 「ん、はあ、好き、好き、好き」

ナツキ 347 「うう、いつまで続けりやいいの」

ナツキ 348 「百回？ お前数えられんのそれ♪」

早口で終わらせようとしたところ、女性器の奥を
とんとん刺激される。

ナツキ 349 「じゃあ……好き好き好き好き好き——あ、あ
あああ♪」

声が震えてとろけていく。

ナツキ 350 「くっそ♪ 邪魔しやがって♪ ああ♪ 奥とんとん
やば♪」

（だんだん声が低く）

ナツキ 351 「まっ、止まって♪ それすぐ、あっ♪
ほん、とまっ、あ、ああ♪」

濁音を含めた、エッチな低音アクメ。

ナツキ 352 「あああ♪♪ ああ、あ、ああああ♪
はあ、あああああ♪ ああ……あああ……♪」

ナツキ 353 「好きって言ったびに、奥、とんとんすんの？」

ナツキ 354 「変なルール付け足すなよ♪ むう♪」

※コンセプト1 『好き』と言って子宮を小突かれたら、『あ』メインで、吐息たつぷり、中音く低音の喘ぎ。甘い声の『好き』とギャップを意識。

好きと言うことにドキドキ、声が震える。

ナツキ 355 「はあはあ♪ ……好き」

とんとん。

ナツキ 356 「あ、ああああ♪（低）ああああああ♪」

ナツキ 357 「これ、ぜってえやべえ……百回とか無理……♪」

ナツキ 358 「奥、よわいい♪ はあ、はあ、はあ♪」

とんとん。

ナツキ 359 「ああ♪？ あああ♪ おま、好きつつってねえのに動くなよっ」

ナツキ 360 「言い続けねえと、お仕置き、なのか？」

（ボーイッシュだけど甘えた声で）

ナツキ 361 「いじわるう♪」

しばし好き攻め。甘イキ低音アクメが止まらない。

ナツキ 362 「むう……好き。あ♪ あああ♪ すき。あえ♪

え、えあ♪ ああ♪ 好き。ん、好き。あああ、あ

ああああ♪」

だんだん余裕がなくなり絶頂。

ナツキ 363 「すつき。ああ、あ、あああ♪ だめ、これ♪ あ♪

は、はあ♪ すきい、あっイグ♪（絶頂）あああ♪♪

ああ、あえええ、あああああ♪」

ナツキ 364 「ごめんなさい、イキましたあ♪ はあはあ♪」

ナツキ 365 「こんなゆつくりだと、おちんぽの形、すげえ分かる♪」

ナツキ 366 「いつもはぐつちやぐちやにされっからさ、なんか新鮮」

だんだん『好き』に情が入ってくる。

ナツキ 367 「うん♪ お前のちんぽは、やっぱ、イケメンちんぽだなあって……好き♪ あ、ああああ♪ あああ♪」

ナツキ 368 「カリ首気持ちいいんだよなあ♪ ん♪ なんつーか、もってかれそうになる♪ 好き♪ あああ、あああああ♪」

ナツキ 369 「お前も、中の感触、ゆつくり味わってんの?」

ナツキ 370 「ヒダヒダが絡む感じとか、どーだ? 気持ちいいか? 好き♪ 好き♪ あ、ああ、ああ♪ あ、はあ、ああああ♪」

ナツキ 371 「お前がデカ尻押し込んでるせいで、すげえ奥に当たる♪ おっぱいみてえに揉みしだきやがって♪」

ナツキ 372 「(中) あっ♪ 強く揉まれんの、好き♪
(低) ああ♪ 好きい♪ ああああああ♪」

※コンセプト2 『大好き』と言ってピストンされた
ら、『お』メインで、吐息たっぷり、中音く低音の
喘ぎ。甘い声の『大好き』とギャップを意識。

ナツキ 373 「お前とのエッチ、大好き♪」

ずぶんっ。

ナツキ 374 「おっ♪ ばか、おおおおお♪ おあ、はあ♪」

ナツキ 375 「いきなりピストンすんなあ♪ 死ぬかと思ったあ」

ナツキ 376 「んだよルール追加か？」

ナツキ 377 「大好きつつたら、デカ尻持ち上げて、ばちゅんっ
て♪ 子宮にピストン♪」

ナツキ 378 「じゃあ、大好きは、好き二回分な♪」

ナツキ 379 「あはは♪ なんかゲームっぽくなってる♪ 負けら
んねえ♪ いくぜー？」

好きというのがノリノリになっている。

ナツキ 380 「大好き♪ おっおお、おおおおお♪」

(声が可愛くとりける)

ナツキ 381 「だいひゅき♪ おお、おおおおお♪」

ナツキ 382 「なあ、やっぱ三回分にしね？これ、効きすぎる♪」

ナツキ 383 「だめえ？ むっ♪」

(最初の『好き』がだんだん低音に。絶頂へ)

ナツキ 384

「好き♪ 好き♪ 好き♪ 好きい♪ ああ、あ

あああ、ああ、あ、あああああ♪ 好き♪ 好き♪

あああ、あああ、あああ、ああああ♪ 大好きい♪

(絶頂) おっ♪ おおおおお♪」

とろけた声。

ナツキ 385

「イキましたあ♪ 好きの後の大好き、気持ちい♪

ああ、あああ♪」

ナツキ 386

「くっそ♪ 本来、好きって、軽々しく言っちゃいけ
ねーんだぞっ♪」

ナツキ 387

「もう一か月分くらい言ってる気がするう」

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 388

「はあ……」

デレデレ。

ナツキ 389

「もっと、言ってほしいのか?」

ナツキ 390

「や、みんなの前じゃ、まずいじゃん……♪」

ナツキ 391

「二人っきりの時もさ、なんか、ほら……♪」

(「」の喘ぎは可愛く)

ナツキ 392

「あ、ああん♪ ちんぽでおねだりすんな♪」

ナツキ 393

「面と向かって言うの、シラフじゃだめなんだよお」

《◆左耳/0cm 抱きつきながら》

ナツキ 394

「むっっっっ♪」

また好き連呼、絶頂へ。

(可愛い声がだんだん低音に)

ナツキ 395

「好き♪ あああ♪ 好き♪ ああ、あ♪ 好きい♪
ああああ♪ ん、好き♪ あ、好き♪ あああう♪
大好きっ♪ (絶頂) おっおお、ほ、おおああ♪」

ナツキ 396

「また勝手にイキましたあ♪ エロい声出してごめん
なさい♪」

ナツキ 397

「それでも、めちやくちや我慢してんだぞ?」

ナツキ 398

「ネカフエの防音とか、たかが知れてるし」

ナツキ 399

「誰かに聴かれてたらどーすんだよ♪」

ナツキ 400

「それでも、聴きてえの? アタシの、ひでえ声♪」

ナツキ 401

「お前変態だよ……♪ 大好き♪」

(甘い『大好き』と喘ぎの高低差を意識)

ナツキ 402

「おっ♪ 大好き、だいひゆき♪ おお、おおお
おお♪ だいしゅ、イク♪ おう♪ は、あああ、あ
あああ♪」

ナツキ 403

「いっぱい聴かせてやる♪ 大好き大好き♪ んお♪
大好き大好き大好きい♪」

ナツキ 404

「お、お、お、お、んお、ほ、おあ♪ だいつすき♪
んんイゲっ♪ (絶頂) おおおおお♪ は、は、は、
あああ……♪」

まだピストンが止まらない。

ナツキ405

「あっ♪(低)は、あ、あっ♪(中)ま、まっへ♪
おへっ♪ いま、いつで♪ おっ♪
まだ、ぎもぢいいのきでるから♪」

ナツキ406

「ああ、はあ、ん、んん♪ なんで、おっ、そんな、
大好きって、言ってねえのに、んまたイキます♪」

震える吐息たっぷり。ピストン一旦止まる。

ナツキ407

「(絶頂)おお♪ んお、ほお、ほお♪ んん♪
んあ♪ あえええ、へえ♪ はー、はー♪」

連続絶頂でとろとろ。

ナツキ408

「んだよお♪ 我慢できなくなったかあ?」

ナツキ409

「あはは♪ こんな密着して、彼女のイキ声聞かされ
りや、我慢とか無理かあ♪」

ナツキ410

「孕ませ欲求、刺激されてもしょーがねえよなあ♪」

乙女な声色でおねだり。

ナツキ411

「なあ♪ ぴゅっぴゅ、したいんだろ?」

ナツキ412

「おちんぼ、もう限界って感じ♪ はは♪」

ナツキ413

「いっぱい鼓膜震わせてやっから、アタシの気持ち、
聞き逃すんじゃねーぞ♪」

最初はゆっくり。好きと言ったたび快感が増す。

ナツキ414

「(息を吸う)……好き♪ あっ♪ 好き、あ、
好き♪ はああ♪ 好き好き、んあ、好き、ああ♪
好き、好き、好きい♪(低)あああ、ぐりぐり好き♪
あああああ♪」

ナツキ415 「普段すげえ優しいのに、エッチの時いじめてくれるの、すげえ好き♪ あん大好き♪ おっ、おほお♪ お、おお♪」

ナツキ416 「どろっどろで、元気な精液出してくれんのも、大好き♪ おおお、ん、おおお♪」

ナツキ417 「噴き出るくらい、中出ししてくれんのも、だーいすき♪ おっ♪ あ子宮きた♪ んおお♪」

ナツキ418 「精液どぴゅどぴゅ出しながら、おまんこぐちゅぐちゅって、ほぐしてくれんの、

大好き♪ だいひゅき♪ だあいひゅきい♪」

絶頂へのスパート。（低音）

ナツキ419 「お、お、お、ほ、おおお♪ あ、あ、あ、は、あああ♪ 精液上がってきたあ♪」

（畳みかける、『大好きだったら』強調）

ナツキ420 「アタシもイキそ♪ 一緒♪ 一緒にイこうぜ？ 大好きだったら、一緒にイくの♪ ぜってえぎもぢい♪ いく♪ いく♪ いくいくイグイグう♪」

痙攣しながら大きく息を吸って、決めセリフ。

とびきり可愛く。震えながら。

ナツキ421 「すー……♪ お前のこと、愛してるぜ♪ だーいすきっ♪」

ねっとり低音アクメ。熱い温泉にゆっくり入るよ
うな、とても長くて幸せな吐息と喘ぎ。

ナツキ422 「おおおおおほおおお♪ ああああはあああ♪ びゅー、びゅー♪ すげえ量♪ おお♪ 子宮、どんどんいっぱいになって、ああああ幸せえ♪」

何度も追いアクメ。優しい絶頂を繰り返す。

ナツキ423 「はああ♪ 残りも出し切れよ♪」

ナツキ424 「大好きっ♪ おっ♪♪ おおおお、ほ、おおお♪」

ナツキ425 「だいすき♪ おっ♪♪ おおおおおおお♪」

ナツキ426 「だいひゆきいい♪ おおおお、またイギます♪

おおお♪ んおおお♪ あ……はあ……♪」

やっと射精が終わる。

満足感の高すぎる吐息。ちよっと虫の息。

ナツキ427 「は、はあ……はあ、はあ♪」

ナツキ428 「出す量えぐ♪ そんなにアタシのこと好きかよ♪
ん、うるせえ……恥ずか、しい……♪」

照れながらも。

ナツキ429 「むう……まあ……アタシも、大好き」

ぱちゅん♪

ナツキ430 「おっ♪ うあ♪ ばか♪ もう終わりだったの♪
殴んぞ♪」

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 431 「……つたく♪」

《◆正面/0cm いちやいちやキス》

ナツキ 432 「んちゆう♪ ちゅっちゅ♪ れる、ちゅ♪
ちゅっ♪」

《◆正面/10cm 離れる》（ぼそっと）

ナツキ 433 「はあ……好き♪」

とんっ♪

ナツキ 434 「ああ♪」

ナツキ 435 「くっそ♪ まだ硬え♪」

（恐る恐る）

ナツキ 436 「まさか、時間いっぱいやるつもりじゃねーよな」
うなづく主人公。ナツキも同じ気持ち♪

ナツキ 437 「するわけねーだろばか♪」

ナツキ 438 「ばか、ばか、ばーか♪」

ナツキ 439 「はー♪ はー♪」

とびきり可愛く。わざとの大好き。

ナツキ 440 「……だーいすき♪」

ずぶん♪（低音喘ぎ、下から突かれて揺れる）

ナツキ 441 「おっ♪♪♪」

（3-2 END 3153文字）

ホテルの一室。部屋に入ったところ。

ナツキ、たまらずベッドに飛び込む。

【奥を向く】

《◆右前/50cm 飛び込む風にしゃがみながら》

ナツキ 442 「とっっっ」

ぼすんとナツキがベッドに沈む。

《◆しゃがむ》

ナツキ 443 「ぶあっっ」

(下向いてすりすり)

ナツキ 444 「あゝっっ 家のベッドの百倍やわらけえっ」

【ダミへを向く】

ナツキ 445 「ほらっ 前も飛べよっ 大丈夫誰も見てねえからっ 少年の心取り戻してけっ」

主人公、荷物を置いて支度。

ナツキ 446 「んあー、やんねえのかよお。むう」

ナツキ、ベッドから起きる。

《◆右/50cm 移動して立ち上がる》

ナツキ 447 「ん……っっっ」

ナツキ 448 「っーかさ、結構いい部屋借りたじゃんっ 久々のデートで張り切っちゃった？」

《◆右/30cm 近づく》

ナツキ 449 「くす♪ かつ」いいぞ♪ うりうり♪ あはは♪」

部屋を動き回る。

《◆右/50cm 右を向きながら》

ナツキ 450 「都会の夜景も最高だし♪」

《◆右前/50cm 移動しながら下を見る》

ナツキ 451 「なんかマッサージチェアあるし♪」

《◆正面/50cm 移動しながら奥を見る》

ナツキ 452 「無駄にフードメニュー美味しそうだし♪」

《◆ダミへを見る》

ナツキ 453 「あ、これ後で頼んでいい？ よっしや♪」

《◆左前/50cm 移動しながら下を見る》

ナツキ 454 「てか、ネット回線はやつ♪」

《◆左/50cm 移動しながら左奥を見て》

ナツキ 455 「あとあと、風呂場もあったよなー♪」

《◆左/遠め 奥を見る》

ナツキ 456 「おお！ 広っ！ なんだこれ♪」

ソープマットを見て一気にテンションが下がる。

ナツキ 457 「あー？ ……なんだこれ」

《◆左/30cm 嫌な予感を抱えながらこっちに》

ナツキ 458 「なあ……なあなあなあ」

ナツキ 459 「この部屋の風呂場……なんか、やらしい感じだったんだけど」

《◆正面／30cm 向き合う》

ナツキ 460 「はあ?」

ナツキ 461 「知っててこの部屋選んだの?! やっぱ変態だあ」

《◆後ずさりしながら》

ナツキ 462 「や、ローションと、マットだろ? アレで何すつか、
なんとなく知ってっけどー!」

《◆もっと後ずさり》

ナツキ 463 「やんねえよ? やんねえ。ぜってえやんねえ」

《◆もっと後ずさり》

ナツキ 464 「お前にどんなにお願いされても、ぜってえやんねえ
から!」

ナツキ、部屋の玄関まで後ずさる。

《◆正面／超遠くから》

ナツキ 465 「絶対だかなっ!」

(4-1 END 396文字)

※座りながら上下に揺れてほしいシーンがありますが、椅子がきしみそうなら無しでOKです。

シャワールームの前。

ドア越しに恥ずかしそうなナツキの声。

《◆正面/50cm　しゃがむ》

ナツキ 466 「ん♪ 準備、できたぜ……入れよ」

ドアが開く。

ナツキ、全身ローションまみれ。

ぬるぬるのビニールマットの上に座っている。

ナツキ 467 「うう……ほら。お前の言いつけどおり、ローションまみれだぜっ。」

ナツキ 468 「むう、じっと見てねえで入れ！ 開ければ寒い！」
主人公も座って、顔の高さが同じに。

《◆正面/30cm》

ナツキ 469 「はあ、はあ……まあ、なんつか……今日のデート、楽しかったし？ 一つくらい、お願い聞いてやっても、いいかなー、とか」

照れてうつむく。

ナツキ 470 「……とかとか……あはは」

うつむいた先に男性器（早えーよでダミへ見る）

ナツキ 471 「あは……あー……もう勃起してるう。早えーよ」

ナツキ472 「そんな刺激つええか？ この格好」

ナツキ473 「全身ぐちよぐちよでさ……裸なんもアレかなって、
あった水着、つけてみたんだけど」

ナツキ474 「ギリ、乳首とまんこ、隠れっかなーくらいで……
なんか、裸より恥ずかしい……♪」

恥ずかしさが限界。

ナツキ475 「う、やっぱ、外すか水着っ」

ナツキ476 「え？ このままっ？」

《◆正面/0cm 襲われて優しいキス》

ナツキ477 「あ、んむ♪ れる、れる、ちゅ♪ れえる、れる、
んん♪ ちゅう♪ はあ♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ478 「水着、可愛いかな？ えへ♪ うるせえよ……♪

おちんぽ押し付けながら、言う言葉じゃねーだろ♪」

ナツキ479 「いいから寝とけ！ してやつから……♪」

ナツキ、キスしながら主人公を横にさせる。

《◆正面/0cm ゆっくり近づいて優しいキス》

ナツキ480 「はあ♪ あむ♪ れる、ちゅ♪ れえる、れる♪

ちゅ♪ 上乗っかるぜ？ れえるれる、れるれる♪

ちゅれるる♪ れるれる、れる、れえるれるる♪

ちゅう♪」

《◆正面／10cm》

ナツキ 481 「はあ、はあ♪」

ナツキ 482 「このまま、こすり合いつつ、すりやいいのかな」

ナツキ 483 「うん。やってみる……♪」

ナツキ、全身をこすりつける。

(ゆっくりしゃがんで、ゆっくり戻る)

ナツキ 484 「ん、んうー……んー……はあ♪」

ナツキ 485 「水着一発で取れた♪ あはは♪ ほら、おっぱいでちった♪ まいっか♪ いつも見せてるし」

ナツキ 486 「続きすんぞ？」

【「こ」から「セリフ」ごとにゆっくり上下】

ナツキ 487 「んうー……生おっぱいを、タオル代わりにしてー」

ナツキ 488 「全身をー……ぐちよぐちよ♪ マッサージ♪」

ナツキ 489 「はは♪ 全体重、かけてっからさあ♪」

ナツキ 490 「むにゅーって♪ おっぱい潰れちまうな♪」

ナツキ 491 「やわらけえか？ 幸せか？ ふふ♪」

【上下、一旦ストップ】

《◆正面／0cm とろけるようなキス》

ナツキ 492 「はあむ♪ れえる、れる、れろれる♪ れえる、れえる、れる、れろれる♪ ちゅう♪」

《◆正面／10cm》

ナツキ 493 「王様気分って感じだな♪」

【「セリフ」にゆっくり上下、再開】

ナツキ 494 「彼女のむちむちボディで、贅沢に体洗ってんの」

ナツキ 495 「いけねえことしてるみたいで、最高だもんなあ♪」

ナツキ 496 「あはは♪ 彼女に何させてんだよ♪ この変態♪」

ナツキ 497 「やるからには、ちゃんと気持ちよくなれよお？」

ナツキ 498 「アタシがここまでしてえ、中途半端な射精したら」

【上下終わり】

ナツキ 499 「ただじゃ置かねえからな♪」

《◆正面／0cm とろけるようなキス》

ナツキ 500 「れえる♪ れえるれえるれえろ♪ れるれろれる♪

んれえる、れろれるれる♪ ちゅう♪」

ナツキ 501 「はあはあ♪ さつきよりちんぽ膨らんでね？

変態♪ れえるれる、ちゅう♪」

ナツキ 502 「」「、どうやってキレイにされてえの？ んちゅう♪

やっぱ、おっぱいか？ んー？ んふふ♪ れえる、

れえる、ちゅう♪」

「デレデレに嬉しそう。

ナツキ 503 「しょーがねえなあ♪」

《◆正面下／30cm 男性器の位置に動きながら》

ナツキ 504 「じゃあ、寝たまま腰浮かせるろ♪」

ナツキ 505 「アタシの太ももにお尻乗せる感じ。そそそ」

ナツキ506 「うっし♪ パイズリ体勢おっけー♪」

(横向いて物を取る)

ナツキ507 「あ待って♪ もつとぐちよぐちよにすっから♪

ローションローション♪」

胸にローションを塗りたくる。

ナツキ508 「おっぱいにたっぷりかけてー♪ ぐにぐにぐにぐに♪

あはは♪ エロいか？ この動き♪」

ナツキ509 「両乳、こすりあわせてさ♪ ああ♪ 乳首も立って

きちまった♪ はあ♪」

ナツキ510 「今からこのおっぱいに、ん、おちんぽキレイにされ
んだぜ？ 楽しみだなー♪」

胸の谷間を広げる。

ナツキ511 「はい♪ くっぴあ……♪」

ナツキ512 「あは♪ 今おっぱいから湯気出たよな♪

くす♪ ぜってえこん中ぽっかぽかじゃん♪」

ナツキ513 「ほら♪ おちんぽおいで♪ Hカップおっぱいで、

ゴシゴシしてやる♪」

ナツキ、男性器を胸で挟み込む。

ナツキ514 「あーむっ♪ あああ♪ おちんぽ全部食べちった♪

んー？ おちんぽ溶けそうかー？ 可愛い顔しやがっ
て♪」

【ここから気持ち左右に揺れながら】

ナツキ515 「おちんぽ洗い、始めるぜ♪ ぐにぐにぐにぐに、ぐ

ちゅぐちゅぐちゅぐちゅ♪ おちんぽ洗われんの気持ち
ちいいなあ♪ ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ♪」

ナツキ516 「あーあー♪ 腰動いてんぞー？ ふにやふにやーつて、わかめみてえな動き♪」

ナツキ517 「今勝負したらアタシが勝てそうだな♪ くす♪」
へたくそな言い訳。

ナツキ518 「ああん？ しねーよ♪ 気分じゃねーし♪」

でれっでれ。

ナツキ519 「勝ち負けじゃねーからさ……弱い姿、もつと見せていいんだぜ？ そのほうが、やりがいあるっつか♪
んふふ♪」

ナツキ520 「ん、なんだよ♪ 別に楽しんでねえし♪ お前に言われて、仕方なくやってるだけだ♪」

ナツキ521 「むう、ニヤニヤしやがって♪ こうなったら♪」

【ここから気持ち上下に揺れながら】

ナツキ、いきなり縦にしごくパイズリ。

ナツキ522 「この、この♪ 横から圧迫しながら、縦にズリコキ♪ ん、ん、ん♪ むちむちおっぱいが、縦にぐにゅーって潰れるくらいだし♪ 下手すりゃ、ん♪ おまんこより、締め上げられてんじゃねーの？」

ナツキ523 「はあ、あ、あ♪ どうだ、まいったか♪ あはは♪ あああ、気持ちよさそ♪ はあ、あ、ん、あ、あ♪」

ナツキ524 「すげえ♪ 谷間から、ごりゅっごりゅって、おっぱいかき分ける音しやがる♪ ちんぽ硬すぎ♪」

ナツキ525 「アタシのおまんこ、いつもこうやって分からされてんだ♪ 本気ピストン、目の前で見せられちまってる♪ はあ、強いおちんぽ、かっこいい♪」

ナツキ 526 「はあはあ♪ 今日も、このおちんぽで♪ あ、ああ♪
くそ、何期待してんだアタシ♪ はあはあ、でも♪」

【啜え込みながら、そのまま上下に揺れる】

ナツキ 527 「はあむ♪ んじゅぶじゅぽ、おちんぽ♪ んじゅぶ
じゅぶ、こ奉仕したくなっちまう♪ じゅぽじゅぶ、
じゅぶじゅぶ♪ じゅぽじゅぽ、じゅぶじゅぶ♪」

ナツキ 528 「美味しそうなちんぽしてんのが悪いんだ♪ アタシ
は変態じゃねえし♪ んじゅぶじゅぶ、じゅぽじゅ
ぽ♪ お前の言いつけだから♪ じゅぶじゅぶ♪」

ナツキ 529 「もっとキレイにしねえと♪ じゅぶじゅぶ、
んちゅうう♪ ちゅっちゅ♪ れえる、れる、れる♪
んちゅうううう♪」

ナツキ 530 「おっぱいおまんこ、気持ちいいか？ 一番奥まで
入れっと、子宮に吸い付かれんの♪」

ナツキ 531 「じゅぶじゅぶ、じゅぽじゅぶ♪ んちゅう、ぶあ♪
ちゅうう、ちゅぽっ♪ ちゅうううう、ちゅぽん♪」

ナツキ 532 「はあ亀頭おいしい♪ このねばっこいの、ぜってえ
ローションじゃねえ♪ れるれるれるるるる♪ 我慢汁、
いっぱい漏れてやんの♪」

ナツキ 533 「キレイにするつつってんのに、汚すんじゃねえよ♪
やり直しだ♪」

（『れるれる』と声に出す舌くすぐりフェラ）

ナツキ 534 「れるれるれるるるる♪ んれるれるれるるるる♪ 亀頭
ピカピカにしてやっからなー♪ れるれるれるるるる
れるれるれるるるる♪ んれええ♪ れえるれるるる
れるれるれるるるる♪」

(『れるれる』と声に出す舌くすぐりフェラ)

ナツキ535

「今のアタシ、舌伸ばしてマヌケな顔してるよな♪
お前にしか見せねえ、フェラチオスマイル♪
あはは♪ んれええ♪ れるれるれるる♪ んれ、
れ、れ、れええる♪ れえる、れる、れる、れ、れ、
れる♪」

ナツキ536

「フェラチオ顔、もつと見てえのか? (恥) むう♪
お前がそういうなら、特別だからなっ♪」

ピストンバキューム。

ナツキ537

「はあむ♪ じゅぶじゅぶ、じゅぶじゅぶ♪ じゅぶ
じゅぶじゅぶじゅぶ♪ おちんぽ好き♪ じゅぶじゅ
ぶじゅぶじゅぶ♪ じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ♪
ちゅううう、ぶあ♪」

【啞えやめ、そのまま上下に揺れる】

ナツキ538

「もう上がってきてんだろ? 毎日しゃぶってっから
分かんだよ♪ 人のフェラ顔見て興奮しやがって♪」

ナツキ539

「ほら♪ 先っぽちゅーちゅー吸ってやつから♪
おっぱいおまんこに、中出ししちまえ♪」

(『ん、ん♪』と声多めでピストンフェラ)

【啜え込みながら、激しく上下に揺れる】

ナツキ540

「ああむ♪、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、ん♪、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、ん♪、アタシのバキューム顔、もっと見ろ♪、じゅぶじゅぶじゅぶ♪、おっぱいに本気ピストンしろ♪、じゅぽじゅぶじゅぶじゅぶ、ん♪、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、ん♪、」

ナツキ541

「はい♪、精液全部飲みます♪、逆らいません♪、全部、全部飲みます♪、じゅぶじゅぶじゅぶ♪、出してくらはいい♪、んちゅうううう♪、ちゅううう♪、」

射精。ナツキもちよっぴり潮吹きイキ。

(上下の揺れをなくしていく)

ナツキ542

「んんん♪、ん、んん♪、ちゅううう♪、ん、じゅぶ、じゅぶ♪、ん♪、じゅぶ♪、ちゅう、んじゅぶ、じゅぽ♪、んんん♪、じゅぶ、ちゅう、ちゅううう、ちゅぽっ♪、ふー、ふー♪、」

【上下揺れおわり】

《◆左耳/0c≡ 精液含んだまま耳元へ》

ナツキ543

「ふー、ふー♪、」

耳元ごっくん。のど越し、吐息。

ナツキ544

「ん、いっく♪、いっく、いっくん♪、んん♪、いっくん♪、はあ、んく♪、はああ♪、」

【ここから小声】

ナツキ545 「いつ飲んでもノド越しエグ♪ 孕ませ意識高すぎん
だよお前の精液♪」

ナツキ546 「んく、はあ♪」

ナツキ547 「ああ？ 潮吹き？ アタシが？」

ばればれの嘘。

ナツキ548 「気のせいだろ……♪ 口に出されて、嬉しいキする
やつがどこにいんだよ……♪」

話を逸らす。

ナツキ549 「それよりさ、まだギンギンじゃん♪」

照れながら。(囁き)

ナツキ550 「今度は、おまんこで、キレイにしてやろうか？」
(とびきり可愛く、ちよつと恥ずかし気に囁き)

ナツキ551 「くす♪ 特別だぞっ♪」

(4-2 END 2827文字)

前シーンの続き。

ナツキが主人公にまたがる。

《◆左/10cm から 正面/30cm へ》

ナツキ 552 「ん……はあ」

ナツキ、男性器を自分の女性器にあてがう。

ナツキ 553 「ああ、これすぐ入りそ♪ ローションでぐっちよりだもんなあ♪ はあ♪」

ナツキ 554 「お前はなんもしなくていいからな♪」

ナツキ 555 「あったけえマットの上で、大の字に寝そべって、ん♪ 自分のちんぽが、ゴシゴシ洗われてる様子を、楽しんで見てりやいい♪」

ナツキ 556 「はは♪ 本当に王様って感じだな♪」

ナツキ 557 「んじゃ、王様ちんぽ、おまんこ洗いますねー♪」
ずぶぶと挿入。だんだん低音に。軽くイク。

ナツキ 558 「あ、ああ……は、あ、ああああああ♪」

《◆正面/0cm とろ声で絶頂報告しながら抱く》

ナツキ 559 「はあはあ、イキましたあ♪」

とろけるようなキス。

ナツキ 560 「ああ、れる、れえるれる♪ れえる、れえる、れえろ、れえる、ちゅっちゅ♪ れえる、ちゅっ♪」

ナツキ、ゆっくり腰を動かして、甘い吐息を出す。

《◆正面／10cm》

ナツキ 561 「はぁ♪ お前のちんぽ入れんの、抵抗なくなっちまった♪」

ナツキ 562 「前まではあんな先延ばしにしてたのに♪」

ナツキ 563 「今じゃ、ちんぽ入れてねーと、収まりが悪いっつか（低）あ、あああ、気持ちいい」

ナツキ 564 「ごめん♪ おちんぽ、洗わねえとな♪」

ナツキ、膝を立ててピストン準備。

ナツキ 565 「ん、はぁ♪」

ナツキ 566 「膝を立てて、ん、くい打ちピストン♪ いくぜ？」

ナツキ、腰を何度も打ち下ろす。

1秒1回ほどの重いピストン。

ナツキ 567 「おっ♪ んお♪ おっ、おっ、おっ、んっ、んん♪
んあ、ああ、（低）ああ、ああああ♪」

ナツキ 568 「そこから、おまんこ見えるか？ むっちむち♪
安産体型♪ お前のための、ご奉仕おまんこ♪」

ナツキ 569 「んん♪ んっ♪ んお♪」

ナツキ 570 「一切腰振らずに、勝手にちんぽ気持ちよくなってるもんなぁ♪ あ、ああ♪」

ナツキ 571 「全自動生オナホって感じ？ 彼女にやらせることがよ♪ はは♪（低）あっ♪ ああ♪」

ナツキ572

「まあ、アタシも望んでやってることだしなあ♪
こうしてつと、んっ、デイルドっぽくて♪ 気持ちいいとこ当てれんの、おっ♪ 結構好きかも♪」

ナツキ573

「（低）ああ♪ はっ、ああ♪」

ナツキ574

「お前もどうだ？ いいとこ当たってるか？」

ん、先っぽ、子宮にこっんってすんの好きだろ♪」

ナツキ575

「こっやって♪ おっ、おっ、んっ、おっ、おっ、

ほっ、あ、あああ、あああああ♪」

ナツキ576

「ほら、喜んでる♪ お前のちんぽのこと、全部分かんだけ？ 何回エッチしてると思ってたんだ♪」

ナツキ577

「（低）あ、ああ♪」

ナツキ578

「もっと強いのも、好きだもんな♪」

ピストン止まる。

ナツキ、ゆっくりお尻を上げて、一気に下ろす。

ナツキ579

「抜けそうなるギリギリまで持ち上げてえ、一気に

奥♪（絶頂）おっ♪♪ ああああああ♪」

ナツキ580

「王様ちんぽ、めっちゃズンって来る♪」

打ち下ろすピストンをするたびに潮吹き。

ナツキ581

「もっかい♪ ケツ持ち上げてえ♪（低）おっ♪♪

（中）おおおおっ♪」

ナツキ582

「もっかあい♪ もちあげてえ♪（低）おっ♪♪

（中）あええええ♪」

（とろけた声）

ナツキ583

「潮吹きで汚しちゃいましたあ♪ ごめんなさい♪
おまんこでキレイにします♪」

《◆右耳/〇〇〇抱きつきながら》【「」から小声】

ナツキ584 「はあはあ♪」

とろける耳舐め。喘ぎまじり。

ナツキ585 「はあむ♪ れえる、れる、ん、れろ、れる♪ ん、
れえる、れえるれる♪ ん、れえる、れろ、れる♪」

ナツキ586 「ピストンするたびに、繋がつてるところが、あつ♪
ねとおってなんの、くっそエロいな♪ はあ、何度も、
ピストンしたくなっちまう♪」

ナツキ587 「はあはあ♪ んむ、れる♪ ん、れる、ん♪ れる
れるれる♪ ローションセックス、家でもしてえな♪
ん、れるれる♪ うん♪ しょ♪ はあ、れるれる、
ん、れる♪ はあ、れる♪ れろれるれる♪」

優しい低音アクメ。吐息たっぷり。

ナツキ588 「あ♪ 潮吹きます♪（絶頂）ああ♪ あ、ああ♪
あえ、へ、え、えああ♪ はあはあ♪」

一旦ピストン止まる。

ナツキ589 「はは♪ ちんぽの周り、すげえねっとりしてんの♪
ローションだけじゃなくて、本気汁もべったり♪
アタシの匂いで、マーキングしちまった♪」

ピストン再開。

ナツキ590 「ん、ん♪ 別にいいよな♪ 王様ちんぽは、アタシ
だけのもんだし♪ れえるれる、れろれる♪
いっぱい匂いつけてやんねえと♪ れろれる、れるれ
る♪ はあ、れえるれる、ん、れろれるれるる♪
おちんぽの根本まで、ちゃんとマーキング♪ おっ♪
れえるれる、れろれる、んれろ、れるれるれる♪」

ナツキ591 「なあ、手えつな」♪ ほら、ローションまみれの、指を絡めて♪ ぎゅー♪」

ナツキ592 「れえるれる♪ ん、れるれるる、れるるる♪」

ナツキ593 「はあ、ああ♪ デート中、ずーっと手繋いでたもんな♪ すげえドキドキした♪ えへへ♪」

ナツキ594 「ああ♪ 手あったけえ♪ 恋人繋ぎマジで好き♪ パコパコ、もっと頑張りたくなっちゃう♪」

ナツキ595 「はあ、れるる♪ れえるれる、はあ、れるる♪ ん、れる、ん♪ れろれるる♪ れろれるるる♪ 大好き♪」

だんだん絶頂に近づいて、低音イキ。

ナツキ596 「れえる、ん♪ れるれる、んん♪ れるれるる♪ ん、（絶頂）おおお♪ あ、はあはあ♪ イキました♪ はあ、れる、れるるるる♪ んれるるるるる♪ れえるれる、れる、んお♪」

一旦ピストン止まる。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ597 「はあはあ♪ まんこ痺れちった♪」

可愛らしく、弱弱しく。

ナツキ598 「ちょっと休憩していい？ ごめんね？」

《◆正面/0cm 優しいキス》

ナツキ599

「はあ♪ んむ♪ ちゅう♪ ちゅ♪ れえる、れる、
れる♪ ん♪ ちゅう、はあ、れる♪ ちゅう♪」

ナツキ600

「はあ♪ 繋がったまま、こすり合いっこすんの、
気持ちいいな♪ はあ♪ ちゅっちゅ♪」

ナツキ601

「ぬりたくったローションも、体温であったかくなっ
てて、れるちゅ、全身ぽっかぽか♪」

ナツキ602

「れえる、れえる、れる、れるれる♪」

ナツキ603

「お前と離れたくねえなあ……♪ はあ♪」

ナツキ604

「ん？ うん♪ お尻、揉んでいいぜ♪」

ナツキ605

「あ♪ あんま強くすんなよ？ 今敏感だから、
なぞるみてえに、優しく、な？」

ナツキ606

「はあ♪ あああ♪ ん♪ れる、れる♪ れえる、
れる♪ ちゅう♪ お前がデカ尻揉むたびに、

おまんこがぎゅーってなんの♪ 分かるか？ ふふ♪
(低) あ、それ気持ちいい♪ れる、ちゅぷ♪ れるれ
ろろ、ちゅう♪ れるれる、れるれる、ちゅ♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ607

「なんかさ、今までしたどのエッチよりも、
密着感あるよな♪」

ナツキ608

「スライムみたいな？ ぐちよぐちよって、隙間もな
んもない♪ ピッタリお前と、一緒になってんの♪
すげえ幸せ♪」

ナツキ、興奮気味。

《◆正面/0cmキス》

ナツキ609 「ん、ちゅ、ちゅう♪ お前の声も、んちゅ味も、
匂いも、はあ、熱さも♪ れえるれる、ちゅう♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ610 「大好きなお前自身も♪ 一気に体で感じてっから、
頭パンクしそうなんだよお♪」

ナツキ611 「ずっと繋がりっぱなし♪ ずっとこのままがいい♪
もっとくっつくお？」

1秒2回ほど、重たくなったりしたピストン。

ナツキ612 「はあ♪ あっ、はっ、あっ、あっ、あっ、ああああ
ああ♪ (低) ああああああ♪」

《◆左耳/0cm抱きつきながら【ここから小声】

ナツキ613 「はあ♪」

ナツキ614 「ごめん、我慢できねえや♪ アタシが本気ピストン
しちまう♪ (低) ああ、ぎもぢ♪」

愛情たっぷりのぐっぽり耳舐め。喘ぎも。

ナツキ615 「はあ、れえるれるれる、ん、れろれるれる♪ ん、
れえろ、れるれる、はあ、れろれる、はあ♪」

ナツキ616 「お前は最後まで動かなくていい♪ ずっと王様でい
ろ♪ えらーい王様は、なんもしなくても、おちんぽ
びゅーびゅー気持ちよくなれんだぜ？」

ナツキ617 「ただちんぽを大きくしてるだけで、勝手に女が
よがっちまう♪ そんなイケメンちんぽを持つお前
だけの、最っ高の特権♪ もっと味わえよ♪」

ナツキ618

「れえるれるる、れろれる♪ 子宮にぐりぐり♪
れるる、れろれるるる♪ デカ尻パコパコ♪
んれえる、れえる、れえる♪ れる、れる、れる♪
生オナホに、中出し♪ はあ、れえるれるる、れろ
れるるる♪ はあ♪」

ナツキ619

「あ、イグ♪（絶頂）あっ♪♪♪ あああああ♪
はあはあ♪ とめねえ♪ ピストンもぜってえとめ
ねえ♪」

ナツキ620

「王様ちんぽは、すげえつええから♪ ずっとご奉仕
しねえと、びゅーびゅーしてくれねえんだよなあ♪」

ナツキ621

「は、あ、あああ♪ あっ、あっ、あっ、ああ♪」

ナツキ622

「ほら♪ お前の大好きな、イキっぱなしおまんこだ
ぜ？（低）あああ♪ 痙攣して、今おちんぽ入れちゃ
ダメってなつてるとこ、無理やり押し広げて♪
（低）おお♪ 奥のほう♪ どちゅっどちゅって♪」

ナツキ623

「あ、これやば♪ 王様ちんぽイグ♪（絶頂）おっ、
あああ♪ は、ああ、はあはあ♪」

ナツキ624

「れえるれる、れろれる♪ ん、ん♪ れえるれる、
れろれる♪ なあ、王様♪ ご奉仕頑張ったからさ♪
ご褒美くれよお♪ れえるれる、れろれる、ん♪
れる、れる、れろれるる♪ はあ♪」

（『ください』強調）

ナツキ625

「ご褒美、ください♪ これでいいか？ マジで王様
気分じゃん♪ さすがアタシの彼氏♪ ふふ♪」

甘えた声で。

ナツキ 626 「じゃあ王様♪ 本気のおねだりピストン♪ ミルク

しぼりピストン♪ しますからあ♪

一番奥に、出して? 、「ほうび♪ 、「ほうび♪」

ナツキ、絶頂へのスパートをかける。

(少し低音喘ぎを混ぜたぐっぽり耳舐め)

ナツキ 627 「はあむ♪ ん、れるれるれるれるれる♪ あ、

んれる、んれるれるれる、はあ、れるれる♪ おお
れるれるれる、れるれるれる♪」

ナツキ 628 「はあ、あ、お、お、お、え、あ、あ、はああ♪」

《◆左前/10cm》【「」から普通の声量】

(とろとろで呂律が回らない)

ナツキ 629 「「奉仕なのに、おねだりしてごめんなさい♪

生オナホなのに、おまんこ弱くてごめんなさい♪

おっ♪ おおお♪ はあ♪」

(スパートかけて『ちんぽイグ』から低音に)

ナツキ 630 「はい♪ お前だけの、お姫様になります♪ 誓いま

す♪ 出して♪ 出して♪ 誓いの中出し♪ あ、は、

あ、あ、あ、あ、は、ああああ♪ ちんぽイグ♪

イグ、イグイグイグイグイグ♪ 中出ひご褒美、

くらひやあああい♪♪♪」

ナツキ、思い切り腰を打ち下ろす。

低音アクメ。大量潮吹き。たっぷり吐息。

ナツキ 631 「おおおおお♪ は、あああ♪」

絶頂の息遣いのまま次ページの耳舐めへ。

残りの射精をうながす耳舐め。喘ぎ吐息いっぱい。
だんだんゆっくり。

◆《左耳/0cm 抱きついて耳舐め》【ここから小声】

ナツキ 632 「はあ、れるれるれるる♪ れろれるれるる♪

れえる♪ れえる、れえる、ん♪ れえろ、れえる、

はあ、れえるれえる♪ んれえる、はあ、れえる、

れえる、れえろ、れえる♪ んはあ♪」

放心状態。

ナツキ 633 「あああ……はああ……も、腰動かね……♪」

◆《正面/0cm 動きながら》

ナツキ 634 「はあ、はあ♪」

ナツキ 635 「んちゆう♪ ちゅっちゅ♪ れる、れる♪

ちゅっ♪」

◆《正面/10cm》（照れながら）

ナツキ 636 「なーあ♪ 頭ぼんぼん♪ してくれよ♪」

ナツキ 637 「偉いぞって♪ 髪の毛にローション付いてもいいか

らっ♪」

なでなで。

ナツキ 638 「あ……ああ……えへ♪ うん♪ 頑張ったぜ♪」

ナツキ 639 「頭ぼんぼん、学校ですんのはやめてほしいけど！

（照）二人の時は、もつとしても、いいんだぜっ。」

◆《正面/0cm 恥ずかしそうにおねだりキス》

ナツキ 640 「むっ♪ ん、ちゅ♪ れえる、ちゅ♪ ちゆう♪

はあ、ん♪ れる、ちゅっちゅ♪ ちゅっ♪」

（4-3 END 3290文字）

ホテルの一室。

ベッドでごろごろする二人。

【ゆったりした会話を意識】

《◆正面/10cm ちよつと遠くから近づきながら》

ナツキ 641 「なあなあ♪ 腕枕♪」

ナツキ、主人公に腕枕してもらう。

《◆左/10cm 動きながら》

ナツキ 642 「ん♪ はあ〜♪」

ナツキ 643 「あったけえ」

ナツキ 644 「けっこう長風呂したもんな。ちよつと湯気出てる」

ナツキ 645 「あと、なんかいい匂いする」

ゆっくり静かに嗅ぐ。

ナツキ 646 「うん……すー、はあ」

ものすごいリラックスしてる自分にちよつと笑う。

ナツキ 647 「（笑）寝ちやいそ♪」

ナツキ 648 「お前を抱き枕にして寝んの気持ちいいんだよなー」

ナツキ 649 「すー、はあ」

デートどうだった？

ナツキ 650 「んー？ うん♪ デート楽しかった♪」

(わざと不機嫌そうな声)

ナツキ 651 「いっぱいエッチなことされたけどー」

ナツキ 652 「まあ、アタシの趣味に付き合ってくれたし♪」

ナツキ 653 「ディナーもすっげえ美味しかったし♪」

(近づいて囁き。まだ根に持ってる)

ナツキ 654 「あと、デートのはじめに、髪型褒めてくれたし♪
くす♪」

(戻る)

ナツキ 655 「合格点をあげようじゃないかあ♪ あはは♪」

ナツキ 656 「たまにはこーいう日もいいよな♪」

ナツキ 657 「学校と家ばっかだと、あんま好きに出来ねえっつか」

ナツキ 658 「うーん。近づきづれえじゃん」

ナツキ 659 「他の女子と喋ってたりするし」

ナツキ 660 「なんかその女子にも優しいし」

ナツキ 661 「や、別にいいけど？ それがお前の仕事じゃん」

ナツキ 662 「最初のアタシだったら、なんかやだなーとか、
焼きもち焼いちやうなーとか、一発殴りてーとか、
後ろから蹴り飛ばしてーとか、もう一発殴りてーとか、
思っちゃうことも、あったかしんねーけどっ」

ナツキ 663 「よくよく考えりや、お前が誰にだって優しくすんのは、
当たり前なんだよな」

ナツキ 664 「やっぱちょーっと妬くけどさ♪」

ナツキ 665

「別にいいぜ？ 他の女に優しくしてても」

【「ここから小声、エッチな吐息と声色で、興奮を演出していく」】

《◆左耳/0cm 動きながら》

ナツキ 666

「だって」

ナツキ 667

「優しいだけが、お前じゃねえし♪」

ナツキ 668

「だろ？」

ナツキ 669

「普段はクラスのみんなに愛嬌振りまいてさ♪」

ナツキ 670

「アタシもそこを買ってお前と付き合ったのに♪」

ナツキ 671

「ふたを開けてみりゃ」

ナツキ 672

「ちんぽで思いっきりボコボコしてくんの♪」

ナツキ 673

「想像できねえよなあ」

ナツキ 674

「最初は尻に敷いてやるーって思ってた」

ナツキ 675

「でも、いざお前とシてみたら」

ナツキ 676

「一発でメス穴にされちゃった♪」

ナツキ 677

「ちゃんとおまんこほぐしてさ」

ナツキ 678

「痛くねえか何度も聞いてきて」

ナツキ 679

「あったかくて、気持ちよくて」

ナツキ 680

「ほんと、お姫様がよってぐらい、大事にしてくれるくせに」

ナツキ 681

「おちんぽは全然手加減してくれねえの♪」

ナツキ 682 「なのに、やってる最中、お前『可愛い』とか言ってくんだぜ?」

ナツキ 683 「子宮口を、ぶちゅっぶちゅって潰しながら、『可愛いよ』『大好きだよ』って」

ナツキ 684 「そんなエッチ、毎日されたらさ」

ナツキ 685 「脳みそとろけちまうに決まってんだろ♪」

興奮の吐息。

ナツキ 686 「はぁ、はぁ♪」

ナツキ 687 「なあ♪」

ナツキ 688 「今日は、どうすんの?」

ナツキ 689 「する?」

わざと挑発。

ナツキ 690 「お前がどうしてもって言うなら、してやってもいいけど♪」

主人公、起き上がる。

【「」から普通の声量】

《◆正面/30cm 動きながら》

ナツキ 691 「ん……ん?」

主人公、バイブを試運転。

ナツキ 692 「なんだよそれ」

ナツキ 693 「この部屋バイブもあんのかよ♪」

(余裕そう。脱ぐ風にちよっと左右に動く)

ナツキ 694 「いいぜ? 下脱いでやつから♪ ん♪ アタシをその気にさせてみるよ♪」

(「」下見る)

ナツキ 695 「あ、これ？」

ナツキ 696 「ニーソックスじゃねえよ？ 夜用のやつ♪」

ナツキ 697 「そそ♪ 脚キレイにするやつ♪」

ナツキ 698 「普通のニーソより締めまりいいからさ、太ももが結構
むちむちってなんだよな♪ はは♪」

ナツキ、主人公の前で両脚を開く。

ナツキ 699 「ほら♪ お股開いてやったぜ？」

ナツキ 700 「むっちりスベスベの太もも♪ そのど真ん中に、
パイパンおまんこ♪」

ナツキ 701 「あ♪ や、全然濡れてねえし♪ これは汗だよ汗♪
まだ全然その気じゃねーから♪」

ナツキ 702 「早くしねえと、脚閉じて寝てやつからな♪」

ナツキ、女性器にバイブをあてがわれる。

くちゅり。

ナツキ 703 「はあ、あ……ん、あ♪」

ナツキ 704 「そのバイブ、持ってるやつより、なんかエグい♪」

いいところをえぐられて、思わず低音喘ぎ。

ナツキ 705 「あ、ああ、は♪ (低) あああああ♪」

ナツキ 706 「よ、よゆう♪ 今日いっぱいエッチしたからさ、
おまんこ強くなってるんだよなあ♪ あははー」

いきなりバイブレーションON。

ナツキ 707 「(低) あ、あああああ♪ あひ♪ ひい♪ いあ
あああああ♪ 強い強い強い、振動強いー！」

低音で絶頂に向かう。

ナツキ 708

「は、は、は、は、あああ♪ これ、すぐ♪ あっ♪
イキます♪ ごめんなさい、イギます♪」

寸止め。

ナツキ 709

「ああっ♪♪ ……あ……え？」

ひくつく女性器を抑えながら、震えた声。

ナツキ 710

「イカせ、ねえの？」

ナツキ 711

「なんで？ なんでだよぉ♪」

バイブON。（だんだん低音に）

ナツキ 712

「あ、あああ♪ バイブ来たあ♪ は、あああ♪
はい♪ Gスポット気持ちいい♪ そこ♪ そこそこ♪
すぐイキます♪ いく♪ いくいく♪ イゲうう♪」

寸止め。

ナツキ 713

「あっ……は……はあー??」

ナツキ 714

「怒るぞー? お前ぜってえわざとだろ!」

バイブON。

ナツキ 715

「舐めた真似してっ——あ、あああああ♪
ぎもぢいい♪ 怒らにやい♪ 怒らないからあ♪
あっいく♪（低）イキます♪ いくいくいくイゲ♪」

寸止め。悲しそうに痙攣。

ナツキ 716

「あ……ああ……あああああ……♪ いじわるう♪」
我慢の限界で甘い吐息を出す。

ナツキ 717

「は——♪ は——♪」

辛うじて挑発。でも興奮が抑えきれない。

ナツキ 718 「エッチしたがってんのは、お前のほうだろ♪

ガッチガチに勃起しやがって♪ はー♪」

ナツキ 719 「彼女を攻めといて、自分が興奮してやんのー♪」

バイブON。

ナツキ 720 「ひゃ、あああああ♪

(低) いく♪、いくくうう♪」

寸止め。

ナツキ 721 「うああ♪ また寸止めえ♪」

吐息に痙攣が伝わる。

ナツキ 722 「はー♪ はー♪」

ナツキ 723 「ぜっつてえ負けねえ♪ お前がおねだりするまで♪

ぜっつてえエッチしてやんねえ♪」

ナツキ 724 「はあ？ アタシからおねだり？」

ナツキ 725 「するわけねえだろ♪」

ナツキ 726 「かかってこいよ♪♪ このザコちんぽ♪♪」

(5-1 END 1615文字)

即落ち2コマ。

部屋に響くバイブの音。

ナツキ、度重なる寸止めで限界を超えて、叫んでしまう。

【「ここから、頭をくらくらさせたり、ビクッと動かしたり】

《◆正面/30cm》

ナツキ 727 「負けましたあっ……♪」

ナツキ 728 「ごめんなさ♪（低）あっ♪♪ 生意気言って、ごめんなさいー」

ナツキ 729 「セックスしたいですー！ します！ させてくださいー（高）しょ？ な？ しょおっ」

ナツキ 730 「負けた♪ 負けたよ？ 負けました！ 負けましたからあっー」

ナツキ 731 「もうバイブやめっ♪（低）ああクリ気持ちいい♪ また負ける♪（高）いきます♪ いくいくいく♪

（低）イギますッ♪」

寸止め。切ない痙攣。

ナツキ 732 「はっ♪ あ♪ あああああ……♪」

ナツキ 733 「また寸止め♪ 寸止めやーあ♪ 潮吹きしてんのに、おまんこイけねえのお♪」

【頭を動かすの終わり】

ナツキ 734 「セックスするう♪ おまんこするう♪」

ナツキ 735 「中出しも、いっぱいしていいですからあ♪」

ナツキ 736 「ほら♪ おまんこ、ずっとヒクヒクしてます♪」

ナツキ 737 「おちんぼ入れたら、ぜってえ気持ちいいよ?」

ナツキ 738 「ね? エッチしょ? おねがい♪ ね?」

ナツキの上に、主人公がゆつくりのしかかる。

《◆正面/10cm 近づきながら》

ナツキ 739 「あ、おちんぼ♪」

ナツキ 740 「うん♪ 入れて♪ 入れて♪」

イケない。ゆつくりすぎる挿入。

ナツキ 741 「あ……ああ♪ は……もつと♪ 一気に、入れていいんだぜ? あ、ああ、は、ん……はあ……♪」

ナツキ 742 「くっそ……ギリいけなかった……」

ナツキ 743 「早くっ……早くちんぽ動かせっ」

主人公に襲われキス。甘くて優しい。

《◆正面/0cm》

ナツキ 744 「あ♪ んん♪ れえるれる、ちゅう♪ れえる♪
んキスはいいいからあ♪ れえるれえる♪ パコパコ
しろお♪ れえるれろれる、れえる、ちゅう♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ 745 「寸止めおまんこ、ゆつくり味わいやがって♪」

限界の吐息。

ナツキ 746 「はーっ♪ 本気ピストンも出来ねえのか?
」の、ザ「ちんぽん」

ナツキ 747 「はぁ♪」

ナツキ 748 「あ、あれ？」

ナツキ 749 「激しく、しねえのか？」

《◆正面/0c また襲われて甘いキス》

ナツキ 750 「ん、おい♪ れえるれるろ、ちゅう♪ もうキス
やらあ♪ れるれるるる♪ 脳みそとけうっ♪
れえるれえるれえる、ちゅう♪」

限界の吐息を何度も漏らす。

《◆正面/10cm》

ナツキ 751 「はーっ♪ はーっ♪」

ナツキ 752 「激しくしてみろよ♪ このザコちんぽ♪」

頑張って煽ってみる。

ナツキ 753 「粗チン♪ 変態♪ セックス下手くそ♪
ばーかばーか♪」

ナツキ 754 「ぜんっぜん男らしくねえ甘っちょろいピストンしや
がっ♪」

ナツキ 755 「そんなんじやさ……♪」

声色が一気に乙女に。

ナツキ 756 「全然イケねえじゃねえかよお♪ いじわるう♪」

(下を見る)

ナツキ 757 「お腹ん中、すげえ熱いのにい♪」

(顔を見る)

ナツキ 758 「ずっと寂しいのお♪」

主人公、猫耳カチューシャをとる。

《◆正面/30cm》

ナツキ 759 「んなんだよお」

ナツキ 760 「それ、猫耳！？　なんで持ってきて、
ってか、もう付けねえつつったろー！」

(ふいっと横向く)

ナツキ 761 「やだ！　恥ずかしい♪　似合わねえし♪」

ゆるーくピストンされる。可愛い声がもれる。

ナツキ 762 「あ、ああ♪　甘いピストンすんなあ♪

どうせイカせてくれねえくせに♪　あ、あ、ああ、は、
あああ……♪」

ナツキ 763 「おねだり？」

ナツキ 764 「はー♪　おねだり♪　はー♪」

ナツキ 765 「無理♪　ぜってえ無理♪　はー♪」

ナツキ 766 「でも♪　猫耳♪　はー♪　猫耳、付けたら♪
今度こそ♪　おちんぼ♪　はー♪　おちんぼ♪」

ナツキ 767 「はあはあ♪　それ貸せ！」

ナツキ、猫耳をつける。

ナツキ 768 「うう……♪　あんま、見んな……♪」

ナツキ 769 「え？　ポーズも？　むう♪」

ナツキ 770 「両手は、顔の横で……猫のポーズ……♪」

ナツキ 771 「にゃああ……♪」

ナツキ 772 「にうかっ」

ナツキ 773 「くっそ……♪ 今すぐにもブン殴ってやりてえけど……♪」

ナツキ 774 「優しいお前は、アタシにだけ、こんな厳しくしてくれる♪ はぁ♪」

ナツキ 775 「だったらアタシも、カッコつけてばかりはダメだよな」

ナツキ 776 「はー♪」

ナツキ 777 「分かった……アタシの、はぁ、精いっぱい、可愛いおねだり……お前だけに、見せてやる……♪」

恥ずかしい言葉。声が震えてしまう。

《◆左耳/0cm 動きながら》【「」から小声】

ナツキ 778 「はぁはぁ♪」

ナツキ 779 「ご主人様♪ アタシの、生意気なメスおまんこ……二度と逆らえなくなるまで、つよいイケメンおちんぽで、シツケて、ください♪」

ナツキ 780 「はぁ♪」

ナツキ 781 「お仕置きピストン、してほしい、にゃあ♪」

主人公、大きく腰を上げて――。

《◆正面/30cm》【「」から普通の声量】

ナツキ 782 「あ♪ はぁ♪」

打ち付ける。

ナツキ 783 「あっ、は、あああああ♪ んお♪ おおお♪
ありがとう、ごらいまひゅ♪ ありがとう「ざいましゅ♪ おちんぽ♪ もうおちんぽ止めないでね♪
おねがい♪ にゃあ♪ にゃあああ♪」

遠慮のないピストン。

ナツキ 784 「あっ♪♪、ひっあ、は、あああああ♪」

ナツキ 785 「奥♪、おっく♪、おぐ、来る♪、おっ♪

子宮ぐる♪、おっ♪、おおおお♪、おっおおお♪」

ナツキ 786 「「めんらしい♪、イキます♪、やっといく♪

寸止めおまんこいく♪、うん♪、イキます♪

ほんとにイっていい？ いいの？、いく♪（低）いく、

いく、いく、いく♪、イキますううっ♪♪」

幸せ絶頂。ピストン少し止まる。

ナツキ 787 「おっ♪♪♪、あっあああああ♪♪、ぎもぢい♪

ぎもぢ♪、はあああああああ♪、あはは♪、イケた♪

イケらあ♪、ああ、ああああああ♪、は、はあ

はあ♪」

すぐにピストン再開。

ナツキ 788

「あ、あああ?！ 待って♪ 待つで♪ おっ♪
ああ♪ もういった♪ イギましたああ♪」

《◆正面/10cm 止めようと近づく》

ナツキ 789

「だめ♪ ちんぽだめ♪ 一回止まって♪」

《◆正面/30cm 遠ざけられる》

ナツキ 790

「あ、あああああ♪」

ナツキ 791

「そうでしたあ♪ 今日は、ずっと、猫のポーズ♪
おっ♪ はあ♪ 両手は、にやあってしたまま♪
動かしちゃだつめ♪ あああああ♪」

喘ぎながら鳴く。

ナツキ 792

「にやあ♪ にやあ、あ、ああ♪」

(『イグ』でいきなり低音に)

ナツキ 793

「にや、あ、イグ♪ イギますっ♪♪」

ナツキ 794

「(絶頂) あっ♪♪ あああ♪」

ナツキ 795

「にや、にやああああ♪ いくっ♪」

ナツキ 796

「(絶頂) ほっ♪ ほおお♪」

ナツキ 797

「んにや、あああ、にや、あああ♪ ーめんなさい、
潮吹きします♪」

ナツキ 798

「(絶頂) おっ♪♪ は、ああ、あああ♪ あああ
ああ♪ はあ……いつぱいいきましたあ……」

《◆正面/10cm ゆっくり近づく》

ナツキ 799

「なに……まだすんの……♪」

ナツキ 800

「この変態♪ 猫ぱんち♪ あはは♪」

乳首を責められて可愛い声に。

ナツキ 801 「あ♪ ひゃあああ♪ 乳首カリカリだめ♪
今だめ♪ ああ、ああああ♪」

ナツキ 802 「とめたいのに♪ 払いのけたいのに♪ ああ♪
両手は、猫のポーズ♪ 動かしたら、叱られちゃう♪
あ、あ、やーあ♪」

ナツキ 803 「敏感な乳首、ずっとカリカリ♪ ただ見ることしか
出来ねえ♪」

ナツキ 804 「うっううう♪ お願い♪ そんなイジメないでえ♪
ぷっくり乳首、今弱いんです♪」

ナツキ 805 「あ、あ、あ、ああああ♪ チクイキくる♪
やば♪ おまんこと乳首、同時に、ぐるっ♪
変なイギ方するう♪」

(呂律が回らない)

ナツキ 806 「は、は、は♪ はいい♪ 乳首いじめられんの、大
好きですっ♪ ああ♪ 無防備乳首、イク時ぎゅって
してくらさい♪ おねがい♪」

絶頂。男性器が引き抜かれて大量潮吹き。

ナツキ 807 「ひく、いく、イグ♪ チクイギします♪ ごめんら
さい、イグ♪ (絶頂) ひゃあああっ♪♪♪ ああう、
ふ、ふああ♪ あああ……はあ……♪」

ナツキ 808 「いきなり、ちんぽ抜くな……潮吹き、めちやくちや
出た……♪ (低) あああ……♪」

《◆正面/0cm 近づきながら》

ナツキ 809 「休憩……さすがに休憩くれ……♪」

優しいキス。

ナツキ 810 「ちゅう♪ れる、ちゅう♪ ちゅう♪ れえるれる、
ちゅう♪ れえる♪」

乳首などで。優しく喘ぎながらキス。

ナツキ 811 「あ、ばか♪ 休憩つつたろ♪ ん、乳首などで
だめ♪ れるちゅう♪ 優しくてもだめ♪」

ナツキ 812 「あん♪ ちゅう♪ れえる、ん♪ ちゅう♪ れえる、
ん♪ れる、ん♪ ちゅう♪ れる♪」

キスしながら軽く乳首イキ。潮吹きもしてしまふ。

ナツキ 813 「んん♪ ちゅう♪ んっ♪ れるちゅう♪」

ナツキ 814 「おまんこ、パコってねえのに、ん♪ 乳首だけで
潮吹きするようになった……むう♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ 815 「自分で？ うん、分かった♪」

ナツキ、自分で乳首をいじる。優しい喘ぎ。

《◆正面/30cm》

ナツキ 816 「ん、ああ♪ アタシの乳首、やば♪ あ♪
もうイキそ♪ ん♪ イジメられまくって、すげえ
弱くなってる♪ あ、いく♪ いくっ♪」

ゆるやかな絶頂。小さい潮吹きが連続で出る。

ナツキ 817 「あっ♪ ああ♪ は、はあ♪ あああ♪」

ずっと乳首をいじってる。

ナツキ 818 「んん♪ 気持ちいい♪ 乳首きもち、あっ♪
オナニー止まんねえ♪」

ナツキ 819 「くす♪ 『主人様のちんぽ、ビッキビキに反り立っ
てる♪ 潮吹きがかかって、ぬるぬるのオスちんぽ
だ……♪』」

ナツキ 820 「あ、またいく♪ 乳首で、潮吹き、しますっ♪
ちんぽにかかっちゃう♪ ああああ♪」

またゆるやかな絶頂。小さい潮吹き。

ナツキ 821 「あっ♪♪ ああっ♪ あ、ああ♪ ああああ♪」
ナツキ 822 「ちんぽどんどんおつきくなってる♪」

ナツキ 823 「興奮、してんのか？ アタシ、そんな可愛いか？」

恥ずかしいでれでれ。

ナツキ 824 「えへへ♪ じゃあ、あと一回、サービスな♪」

ナツキ 825 「ほら♪ よわよわ乳首、自分でぎゅってしてえ、
おっ♪ すぐ潮吹きしちまうとこ♪ 見て♪
ずっと見てて♪ ああ、は、は、あ、あああ♪」

ナツキ 826 「死ぬほど恥ずかしいのに、なんで♪
なんでこんな気持ちいいんだよお♪」

ナツキ 827 「お前のせい♪ 全部お前のせいだ♪」

ナツキ 828 「我慢汁と潮吹きで、ぐっちよぐちよにエロいちんぽ
しやがって♪（高）あ、チクイキします♪ あ♪
ああ♪ は♪ はあ♪ あああ……♪」

《◆正面/10cm 近づきながら》

ナツキ 829 「はあ、はあ♪」

女性器に男性器があてがわれる。

ナツキ 830 「ああ、捕まっちゃまった♪」

ナツキ 831 「おちんぽすりすり♪ 本気ピストン、準備してる」

ナツキ 832 「ご主人様、おまんこに種付け、したくなっただんですか？」

ナツキ 833 「メス猫のアタシに、限界きちまったか？ はは♪」

（横を向いて嬉し恥ずかしそうに）

ナツキ 834 「しょーがねえなあ♪」

（顔を見て）

ナツキ 835 「今日は、ずーっと猫でいてやるからさ♪」

【ごっこから小声、ねっとり】

《◆左耳/0cm 動きながら》

ナツキ 836 「はあ……♪」

ナツキ 837 「このぶら下がってるの、空っぽになるまで♪
生意気おまんこに、どぴゅっどぴゅって♪
種付けピストン♪ してほしい、にゃー♪」

（でれでれ囁き）

ナツキ 838 「ご主人様♪ 愛してるぜ♪ ちゅ♪」

興奮した主人公、がばっとナツキを押さえ込む。

【ここから普通の声量】

《◆正面/10cm すばやく動きながら》

ナツキ 839 「あ、あは♪」

すぐ挿入。1秒2回の重たいピストン。

アへ声気味。

ナツキ 840 「ああああ♪ あ、あ、は、あ、ああああ♪

がつつきすぎだつての♪ まだ何時間もあるだろ？

おっ♪ おっ♪ ああすげ♪ ああ♪」

ナツキ 841 「精液作られすぎて、金玉痛かったりしてな♪

あはは♪ あっ♪ ああああ♪ お前専用の、

メスマンこなんだから♪ んっ♪ 全部中出しすりや

いいじゃん♪ んっ、んあ、は、あ、あええ♪」

ナツキ 842 「まさか、一回や二回で、アタシをおとせると思って

んの？ それこそザコちんぽだろ♪」

ピストンがより重たくなる。

ナツキ 843 「おっ、おおおお♪ ちんぽ膨らんだ♪ なんだよ♪

さっきは全然ノッてくんなかったくせに♪」

ナツキ 844 「おっ♪ ああやべ、これ負ける♪

おお、まんこイク♪ イグ♪（絶頂）お、おおお

おお♪ は、はあ、あああ♪」

ナツキ 845 「粗チンって言ってごめんな♪（低）あ、あああ♪

ご主人様のちんぽ、気持ちいいれひう♪」

ナツキ 846 「んお♪ 奥♪ 奥、届く♪ おっ、おっ♪ 好き♪
そのピストン好き♪ おっ♪♪ やっぱご主人様は、
イケメンちゃんぽだ♪ はは♪ あお、おおお♪」

貪りあうキス。奥に届くピストンもしながら。

《◆正面/0cm》

ナツキ 847 「おっ、んん♪ ちゅぷれる、れるれるれる、んお♪
れるれる、れえるれるる♪ ほ、おっ♪ ちゅうれるれ
る♪ れるれる、ん、お♪ れるれるれるちゅう♪」

ナツキ 848 「それ反則♪ ちゅーしながら、おっ♪
なんも考えらんねえ♪（低）ああ、ああああ♪」

ナツキ 849 「んちゅ♪ れえろれる、ん♪ れえるれるれるろ
れるる♪ んん♪ れえるれる、れろれろれるる♪」

（キスで舌を絡めながら）

ナツキ 850 「おおお、おおおお、お、おおおお♪」

（口内をかき回すキス）

ナツキ 851 「こちゅこちゅこちゅこちゅ、くちゅくちゅくちゅく
ちゅ♪」

ナツキ 852 「ぶあ♪ はあ♪」

ナツキ 853 「キス無理い♪ ずっとイキっぱなしになんの♪
無理♪ でも好き♪ 無理♪ 無理♪ 大好き♪」

ナツキ 854 「はあむ♪ れえるれるれる、れろれるる♪ んん♪
れえるれる、ひゆき♪ れるれるる♪ だいひゆき♪
れえるれるる♪ ごひゆじんさま、だいひゆき♪ れる
れるる♪ ひゆき、イグ♪（絶頂）んん♪ れる、ん♪
れえる、んんん♪ れるちゅうう♪ ぷああ♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ 855 「種付け準備、できましたか？ 上ってきましたか？
はあはあ♪ 猫のポーズで、最後のおねだりします♪
はー♪（可愛く）ご主人様あ♪ おまんこ種付け、
してほしいにやあ♪」

絶頂へ向かう一番激しいピストン。

ナツキ 856 「ああ♪ あ、あ、あ、あ、あ、は、あああああ♪」
ナツキ 857 「やつぱすげえハズいい♪ 頭ぼんぼんしろ♪ なで
なでもしろ♪ にやああ♪ にやゝああ♪」

《◆正面/0cm 激しいピストンと貪りキス》

ナツキ 858 「んれるれる♪ んん♪ れろろ、ちゅ♪ れる、
んん♪ れえろれる、んおお♪ れるれる、れるれ
るろ、ん、ん、れるれるる、ん、ん、は♪」

《◆正面/10cm》（絶頂へ畳みかける）

ナツキ 859 「あ、あ、あ、あ♪ 孕ませて、ご主人様♪
びゅーびゅー、全部♪ 全部中出し♪ 種付け♪」
（絶頂に向かって低音低く）

ナツキ 860 「ひあああああ♪ ああああああ♪ アタシもイグ♪
一番やばい潮吹きする♪ いく、いく、いくいく♪
イグイグイグイグう♪ イギますっ♪♪」

真っ白になる絶頂。息をするのがやっと。

ナツキ 861 「（絶頂）おおおおおっ♪♪ おっ♪ おおお
おお♪ おおお♪ 全部、飲んです♪ おまん
こで飲んです♪ はああ、おっ、んおお♪ おっ？
まだ出てるす♪ おっ♪ おへええええ♪」

余韻。とろけた声。ゆっくりと腰を揺らすナツキ。

ナツキ 862 「ああ〜♪ すぎえ♪ まだちよつと、ぴゅーつて

出てんの♪ ああ♪ ぜーんぶ飲みますからね〜

「ご主人様あ〜♪」

ナツキ 863 「ああ〜♪（低）あ、またイグ♪ おっ♪♪

ああ♪」

ナツキ 864 「ごめんなさい♪ ちよつとこぼしましたあ♪」

ナツキ 865 「新しいの、入れてもらわねえと♪ はは♪」

《◆正面/0c≡優しいキス》

ナツキ 866 「はあ、はあ……♪」

ナツキ 867 「ん……ちゅ、ちゅ……ちゅう♪ れる、ちゅ……

ちゅっちゅ♪ ちゅう♪」

ナツキ 868 「やだ♪ 寝ない♪ もっと交尾する♪」

ナツキ 869 「ちゅ、ちゅう♪ れえるれるる、ちゅ♪」

ナツキ 870 「お前がおねだりさせたんだろお？」

ナツキ 871 「あんな恥ずかしいおねだり、一回経験しちまった

ら……もうお嫁に行けねえよ……♪」

ナツキ 872 「むう♪ ちゅう♪ れる、れる♪ ちゅうう♪」

ナツキ 873 「生意気なメス猫を、養う覚悟は出来てんのか？」

ナツキ 874 「くす♪ 答えんの早えよ♪ ったく♪」

嬉しくてキスおねだり。

ナツキ 875 「んー♪ ちゅう♪ れえる、れえる、れる、
ちゅ♪」

ナツキ 876 「ま、美味しいの毎日作ってやつから♪」

ナツキ 877 「ん♪ よろしくな♪」

《◆左耳/0c≡動きながら》

ナツキ 878 「それじゃあ記念にい」

(小声)

ナツキ 879 「あと十回♪ 中出ししてほしいにやつ♪」

《◆正面/10c≡動きながら》

ナツキ 880 「おお?」

ナツキ 881 「まさかバテてるなんて言わねえよな?」

(煽りっぽく左右に動く)

ナツキ 882 「おやおやあ? 攻めがスタミナ切れとかカッコわ
りい♪ 自称Dの君、どうしちやったのかなあ?」

ナツキ 883 「あははは♪」

《◆正面/0c≡襲われキス》

ナツキ 884 「んむっ♪ んー♪ んふふ♪ れるれるるるる♪
ちゅれるるるるるる、れるれるるるる♪ ちゅう♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ 885 「ごめんなあ♪ また生意気なこと言っちゃったあ♪」
いい感じに終わりそうなトーン。

ナツキ 886 「はは♪ ずーっとずーっと♪ しつけてくれよ？」
やっぱり煽る。

ナツキ 887 「変態ご主人様♪」

ナツキ、くるりとうつ伏せにされる。

《◆正面/30cm 遠ざかりつつ、くるっと回る》

ナツキ 888 「え、なに？ なに？」

【ここから背中を向ける】

【横を向いたり、振り返ったり、じたばた】

ナツキ 889 「いや、だから！ 寝バックはやめようぜ！？」

ナツキ 890 「って、縛られてるー！」

ナツキ 891 「え？ー！」

ナツキ 892 「バイブー？ 電マ！？ リモコンローター！？」

色んなアイテムが一気に震えだす。

《◆正面/10cm 近づきながら》

ナツキ 893 「あ、ああ、ああ、ああ……♪」

ナツキ 894 「あは♪ 終わったあ……♪」

ナツキ 895 「おおっ♪♪ イグっ♪♪ イギますう♪♪♪」

(5-2 END 4497 文字)

本当に本当にお疲れさまでした。